

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I (指導法研究 I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	伊藤照美	専門	1	必修	2 年前期
科目の概要						
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。 また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。単位としては I と II に分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの授業と受け止めて欲しい。						
学修内容			到達目標			
①いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ②「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。			①各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ②研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。 ③岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考慮して期限内に完成できるよう進めることができる。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。				
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:各ゼミナールにて提示される 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:すべての科目と関連する。 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。			・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート			
成果発表 (口頭・実技)	80	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> 各ゼミナールの担当教員が評価する。 「研究報告会への取り組み」や「幼児学ゼミナール抄録集」、「げんき館での活動」が評価される。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	20	① ② ③	<p>(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。</p> <p>(実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。</p> <p>(課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。</p> <p>(想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。</p> <p>(発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。</p> <p>(傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。</p> <p>(規則性) <ul style="list-style-type: none"> 授業開始から15分以内に入室した者は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 授業開始から15分を超えて入室した者は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。 </p>
その他			
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。 総合評価 90 以上はS(秀)、89～80 はA(優)とする	各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 総合評価 79～70 はB(良)、69～60 はC(可)とする

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション ゼミナール活動の目的と内容について確認する 身体表現や遊びを通して運動の楽しさを理解する	演習	シラバスを読んでおく	シラバスを参照しておく	60	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規則性
2週 /	室内スポーツ活動 AB の企画・立案	演習 全員でスポーツをする	スポーツの内容・ルールが習得できる	適度に運動しておく	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
3週 /	1.2 年生合同ゼミナール	演習	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる	適度に運動しておく	90	主体性 実行力 規則性
4週 /	1.2 年生合同ゼミナール	演習	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる	適度に運動しておく	90	主体性 実行力 規則性
5週 /	室内スポーツ活動 AB の実践	演習 全員で考えてスポーツをする	スポーツの内容・ルールが習得できる	適度に運動しておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
6週 /	室内スポーツ活動 C の企画・立案, 実践	演習 全員で考えてスポーツをする	スポーツの内容・ルールが習得できる	適度に運動しておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
7週 /	外スポーツ活動 A の企画・立案, 実践	演習 グループで考えたことを教える	スポーツの内容・ルールが習得できる	適度に運動しておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
8週 /	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備	演習	オープンキャンパス・ボランティア活動の企画立案と準備を積極的に行うことができる	適度に運動しておく 事前に準備をしておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	オープンキャンパス・ボランティア参加の企画・立案準備	演習	オープンキャンパス・ボランティア活動の企画立案と準備を積極的にできる	適度に運動しておく 事前に準備をしておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
10週 /	ニュースポーツ A を子ども向けにアレンジする 実践	演習 全員で考えてスポーツをする	積極的に行うことができる スポーツの内容・ルールが習得できる	適度に運動しておく 事前にニュースポーツを確認しておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
11週 /	ニュースポーツ B を子ども向けにアレンジする 実践	演習 全員で考えてスポーツをする	積極的に行うことができる スポーツの内容・ルールが習得できる	適度に運動しておく 事前にニュースポーツを確認しておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
12週 /	身体表現・リズム体操 A を考える 実践	演習 グループで考えたことを教える	積極的に行うことができる 発育年齢に応じた動きを 考えることができる	適度に運動しておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
13週 /	身体表現・リズム体操 B を考える 実践	演習 グループで考えたことを教える	積極的に行うことができる 発育年齢に応じた動きを 考えることができる	適度に運動しておく リズム体操①を復習する	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
14週 /	実習・就職活動への課題に取り組む	演習	積極的に行うことができる	適度に運動しておく 課題を準備しておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
15週 /	げんき館参加の企画・立案	演習	げんき館の企画立案と準備を積極的にできる	適度に運動しておく	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I (指導法研究 I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	伊藤智式	専門	1	必修	2年前期
科目の概要						
<p>各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。</p> <p>このゼミのテーマは「子どもの遊びを考える」である。実際に子どもの遊びを体験し遊びの楽しさを味わい、新しい遊びを創造すると共に、子どもたちに楽しさを伝える術を学ぶ。また、子どもの遊びや子どもに関する行事についての調査や研究を行う。子どもの遊びを究め、保育者としていつも子どもたちに楽しさを伝えられるピエロのような存在になってほしい。</p>						
学修内容			到達目標			
①子どもの遊び等についての課題を実践する。 ②個人の研究テーマを設定し、取り組む ③「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表の準備と実践をする。 ④「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。			①実践課題を積極的に取り組み、体得する。 ②個人の研究を主体的に取り組み、成果を出す。 ③「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、他者と協力し積極的に取り組む。 ④「岡崎げんき館」にて子どもたちを積極的に取り組む。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成させることができる。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。				
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:特になし。 資料を随時配布する。 参考文献:特になし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:すべての科目と関連する。 資格との関連:幼稚園教諭二種免許状、保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・積極的に参加する。 ・勇気を出して前に踏み出す。			・教員学生間での TPO に応じた礼節を重んじる。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	80	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・実践課題の達成度(40) ・げんき館での活動成果(10) ・ゼミ研究報告会までの総合的な取り組み(30)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。(主体性) ・グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。(働きかけ力) ・実践課題を習得できるように粘り強く取り組むことができる。(実行力) ・子どもん遊びや安全管理についての問題点を認識できる。(課題発見力) ・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。(創造力) ・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。(発信力) ・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。(傾聴力) ・周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。(状況把握力) ・集団でのルールやマナーを守ることができる。(規律性)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>ゼミの課題に対して積極的に取り組み、ゼミで学んだ研究成果や表現技能、指導法などを応用的に実践することができる。(A)。</p> <p>学習修得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。(S)</p>	<p>ゼミの課題に対して取り組むことができる。(C)</p> <p>個人やグループにおいて、研究成果や表現技能などを具体的に実践することができる。(B)</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション ゼミナールの目的と内容について確認する	演習	ゼミの活動を理解し、個人の目標を設定する。	シラバスを参照しておく	45	主体性 実行力 傾聴力
2週 /	子どもの遊び、コマ回し、ビー玉、皿回しを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	コマ回し、ビー玉、皿回しの遊び方を修得できる。指導法を理解できる。	コマ回し、ビー玉、皿回しの遊び方を復習する。	45	実行力 課題発見力 規則性
3週 /	1.2年生合同ゼミナール 幼児向け運動会	演習、実技 実技についての相互評価	学生・教員と相互の交流を積極的に起こうことができる	なし	0	主体性 実行力 規則性
4週 /	1.2年生合同ゼミナール 幼児向け運動会	演習、実技 実技についての相互評価	学生・教員と相互の交流を積極的に起こうことができる	なし	0	主体性 実行力 規則性
5週 /	子どもの遊び、ブンブンゴマ、紐を使った玩具、皿回しを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	子どもの遊び、ブンブンゴマ、紐を使った玩具、皿回しの遊び方を習得できる。指導法を理解できる。	ブンブンゴマ、紐を使った玩具、皿回しの遊び方を復習する。	45	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規則性
6週 /	子どもの外遊び、探偵ごっこ、缶蹴り、ポコペンなどを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	子どもの外遊び、探偵ごっこ、缶蹴り、ポコペンなどの遊び方を習得できる。指導法を理解できる。	探偵ごっこ、缶蹴り、ポコペンなどの遊び方を復習する。	45	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規則性
7週 /	子どもの遊び、ゴムとび、おはじき、折り紙などを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	子どもの遊び、ゴムとび、おはじき、折り紙などの遊び方を習得できる。指導法を理解できる。	ゴムとび、おはじき、折り紙などの遊び方を復習する。	45	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規則性
8週 /	子どもの遊びの中で、回転体の原理を利用した遊びについて学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	子どもの遊びの中で、回転体の原理を利用した遊びについて理解できる。	回転体の原理を復習し、その応用を考える。	45	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働かけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	遊びについての個人研究を深める。子どもの遊び、バレーンアートを学ぶ。	演習、実技 実技についての相互 評価	遊びについての個人研究のテーマを明確にできる。子どもの遊び、バレーンアートの遊び方を習得できる。	遊びについての個人研究を行う。	90	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規則性
10週 /	遊びについての個人研究を深める。子どもの遊び、あやとり、ゴムとびを学ぶ。	演習、実技 実技についての相互 評価	遊びについての個人研究の計画を明確にできる。子どもの遊び、あやとり、ゴムとびの遊び方を習得できる。	遊びについての個人研究を行う。	90	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規則性
11週 /	ピエロの演じ方と技能について学ぶ。パントマイム、ディアボロ、デビルスティック、シガーボックスなどの技能を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互 評価	パントマイム、ディアボロ、デビルスティック、シガーボックスなどの技能ができる。	遊びについての個人研究を行う。	60	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
12週 /	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六など体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互 評価	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六などの遊び方を習得できる。指導法を理解できる。	子どもの昔の遊び、元大中小、メンコ、双六などの遊び方を復習する。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
13週 /	岡崎げんき館での活動を企画・立案する。	演習 立案用紙の評価	積極的に参加し、岡崎げんき館での活動を企画・立案をできる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
14週 /	岡崎げんき館での活動計画を再考し、リハーサルをする。	演習、実技 実技についての相互 評価	岡崎げんき館での活動計画を理解できる。自分の役割を認識できる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	30	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
15週 /	岡崎げんき館での実践予定をもとに役割分担に対して責任を持ち実践する。	実技 実践評価	自分の役割を理解し実践できる。	自分の役割を理解し実践できるように予習しておく。反省点を振り返る。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I (指導法研究 I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	岡田 真智子	専門	1	必修	2 年前期
科目の概要						
<p>テーマ「なんでも保育教材になるよ」と題し、参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。いろいろな教材をもとに保育内容に展開できるように、自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。</p> <p>また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。単位としては I と II に分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの研究活動である。将来保育者を見据え幼児教育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を習得する。</p>						
学修内容			到達目標			
①いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ②「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③「岡崎げんき館」にて子どもたちと実践的に関わる。			①各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ②研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。 ③岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組み、その体験をもとに保育実践に連動して考えることができるようになる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。				
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> 自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:各ゼミナールにて提示される 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:すべての科目と関連する。 資格との関連:幼稚園教諭二種免許状、保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。			・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。			

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション ゼミナール活動の目的と内容について確認する 教材研究を通して保育内容を考える	演習	シラバスを読んでおく	(予習)シラバスを参照しておく (復習)保育教材に適した素材研究をする。	60	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規則性
2週 /	ゼミの活動の予定を企画・立案する。	演習 グループワーク	ゼミの活動、趣旨を理解し話し合いに参加し自分の考えを人に伝えるように話す。	(予習)教材を考えておく (復習)ゼミ活動の予定企画案を見直し今後の見通しを立てる。	45 45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
3週 / ・ 4週 /	1.2年生合同ゼミナール	演習	学生・教員と相互の交流を積極的におこなうことができる	(予習)適度に運動しておく (復習)本日の活動を振り返り、保育実践に活用する方法を考える。	45 45	主体性 実行力 規則性
5週 /	岡崎げんき館活動計画を企画・立案する。	演習 ゼミ学生全員で協力のもと、役割分担し実践に向け活動する。	具体的な指導計画を立案し、ゼミ生共通理解のもと、自分の役割を認識する。	(予習)企画案を考えておく (復習)役割を自覚し確認する。	45 45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
6週 /	岡崎げんき館での活用計画を企画・立案をもとに実践計画を立て、リハーサルをする。	演習 ゼミ学生全員で協力のもと、役割分担し実践に向け活動する。	具体的な指導計画を立案し、ゼミ生共通理解のもと、自分の役割を認識する。	(予習)自分の役割を理解し実践できるようにしておく (復習)役割に応じて繰り返し練習をする。	45 45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
7週 /	岡崎げんき館での実践予定をもとに役割分担に対して責任を持ち実践する。 本日の活動の振り返り	演習 立案をもとに親子に対して実践する。	親子に対して実践する中で予想してないことに対して臨機応変に対応することができるようにする。	(予習)自分の役割を理解し実践できるようにしておく (復習)実践を通して振り返り、今後に対して再構築する。	45 45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
8週 /	身近にある素材で保育教材として使用できるものは何があるのかを探る。	グループワーク 子どもにとって取り扱いやすいものは何かを考える。	身近な素材を保育内容に展開して考えることができるようになる。	(予習)保育教材となるものはないか探しておく。 (復習)立案を年齢に合わせた展開方法を考案する。	45 45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / /	素材「牛乳パック」を使って 保育教材研究を行う。	グループワーク 持ち寄った案を実践し て評価しあう。	積極的に参加し、発 達年齢に応じた保育 内容の展開を考えるこ とができる	(予習)牛乳パックを素材 としての保育内容を考え ておく。 (復習)考えを実践する。	45 45	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
10週 / /	素材「牛乳パック」を使って 保育教材研究の実践を行 う。	実践演習 企画したもの実践を意 識しゼミ生に伝える。	積極的に参加し、発 達年齢に応じた保育 内容の展開を考えるこ とができる	(予習)牛乳パックを素材 としての保育内容を考え 立案しておく。 (復習)立案を年齢に合 わせた展開方法を考案す る。	45 45	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
11週 / /	素材「ストロー」を使って保 育教材研究を行う。	グループワーク 持ち寄った案を実践し て評価しあう。	積極的に参加し、発 達年齢に応じた保育 内容の展開を考えるこ とができる	(予習)ストローを素材とし ての保育内容を考えてお く。 (復習)考えを実践する。	45 45	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
12週 / /	素材「ストロー」を使って保 育教材研究の実践を行う。	実践演習 企画したもの実践を意 識しゼミ生に伝える。	積極的に参加し、発 達年齢に応じた保育 内容の展開を考えるこ とができる	(予習)ストローを素材とし ての保育内容を考え立案 しておく。 (復習)立案を年齢に合 わせた展開方法を考案す る。	45 45	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
13週 / /	素材「紙皿」を使って保育 教材研究を行う。	グループワーク 持ち寄った案を実践し て評価しあう。	積極的に参加し、発 達年齢に応じた保育 内容の展開を考えるこ とができる	(予習)紙皿を素材として の保育内容を考えておく。 (復習)自分なりの展開方 法を考える。	45 45	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
14週 / /	素材「紙皿」を使って保育 教材研究の実践を行う。	実践演習 企画したもの実践を意 識しゼミ生に伝える。	積極的に参加し、発 達年齢に応じた保育 内容の展開を考えるこ とができる	(予習)紙皿を素材として の保育内容を考え立案し ておく。 (復習)立案を年齢に合 わせた展開方法を考案す る。	45 45	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
15週 / /	今まで以外の色々な素材を 使って保育教材研究を行 う。	グループワーク 持ち寄った案を実践し て評価しあう。	積極的に参加し発 達年齢に応じた保育内 容の展開を考えること ができる	(予習)色々な素材を発 見し保育内容として展開 できるように考えておく。 (復習)ほかに適した教材 はないかを探る。	45 45	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I (指導法研究 I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	高沢 佳司	専門	1	必修	2年前期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。幼児学ゼミナール I では、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。

学修内容	到達目標
①げんき館活動による保育・教育実践の計画及び実施 ②心理学実験演習 ③心理検査法	①各領域のねらい及び内容 一般目標: 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。 到達目標・・・1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。2) 当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。4) 領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。 ②保育内容の指導方法と保育の構想 一般目標: 幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。 到達目標・・・1) 幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。2) 各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。3) 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することが出来る。4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。5) 各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を達成するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるることができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし ※プリントは適宜配布する。

他科目との関連、資格との関連	
他科目との関連: 幼児学ゼミナールⅡ 資格との関連: 幼稚園教諭2種免許、保育士	
学修上の助言	受講生とのルール
Self-Distancing (自己俯瞰方略) の利用により、自己の置かれた状況を客観的に正確に把握できるようにすること。観察力を養い、ひいては強固な状況把握力へとつながるスキルである。なおこの方略についてはゼミで手ほどきをする。	調べ学習、発表、グループワーク、相互に教え合う等の活動に代表される、アクティブラーニング形式での授業に意欲を持って参加すること。課題プリントが課されるため、必ず提出すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
成果発表 (口頭・実技)	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 心理学実験演習、心理検査演習でのプレゼンテーションの出来を評価する。自己の役割(原稿読み、進行、PC 操作、等)を、チーム内で計画した通りに実行できるほど、評価点が高くなる。
		②	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) ・調べ学習等の自発的な学習を行うことができる。 (実行力) ・実験、観察、地域活動等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる。 (課題発見力) ・地域活動等の際、対象のニーズを把握したり、問題解決の手だてを把握したりすることができる。 (創造力) ・事例や教科書の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して問題解決方法を考案したり、支援計画を考えたりすることができる。 (発信力) ・グループ討議やプレゼン準備の結果を他者に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる。 (傾聴力) ・発言者の意見を自分の立場に置き換えて、意図を汲み取りながら聴くことができる。 (状況把握力) ・効果的な観察を通して対象や自己の置かれた状況を正確に把握することができる。 (規律性) ・他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。また、授業中に携帯電話を不必要に操作しない。
		②	✓	
その他	30	①	✓	以下の2活動の出来をそれぞれ15点満点で評価する <ul style="list-style-type: none"> ・げんき館での活動 ・その他のグループ活動
		②	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
成果発表・社会人基礎力(学修態度)・その他の3つの評価方法において満遍なく十分な力を発揮できればA。3つの評価方法においてほぼ、あるいは完璧に力を発揮できればS。	成果発表・社会人基礎力(学修態度)・その他3つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できればB。2つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できればC。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション	講義 グループ討議(自己 紹介を含む)	1年間のゼミ活動の目標や課題 が理解できる。また、心理学実 験法、検査法、観察法、げんき 館活動、ゼミナール報告会発表 の概要について理解できる。自 己紹介により、メンバー間の交 流ができる。	復習:プリントを見 直す。	180	課題発 見力 状況把 握力 規律性
2週 /	げんき館活動準備① ねんど遊びの計画を 行う	講義 グループ討議 発表	当ゼミのげんき館テーマである 「ねんど遊び」に必要な準備を 行う。活動の流れを確認し、導 入のための手遊び歌を決定し、 練習・発表ができる。	復習:手遊び歌を 身につける。	180	実行力 課題発 見力 創造力 発信力 規律性
3週 /	げんき館活動準備② 自己俯瞰方略の練習 をする	講義 グループ討議 発表	げんき館活動の際に子どもを観 察する方法として、自己俯瞰方 略を練習・発表する。自己俯瞰 方略によってシミュレーション する場合と、そうでない場合と の気づきの差を実感できる。	復習:手遊び歌を 身につける。	180	実行力 発信力 状況把 握力 規律性
4週 /	げんき館活動を行う (1回目) ※他ゼミとの予定の兼ね 合いで、別の週の内容と 入れ替える場合がある	地域活動実践	げんき館に実際に行き、未満児 や保護者とのねんど遊びを通し た交流を行う。必要な援助、指 導を行う。また、自己俯瞰方略 を実際に用いて状況を把握する ことができる。	予習:手遊び歌、 自己俯瞰方略につ いて確認する。 復習:活動中の出 来事について振り 返る(げんき館活動 振り返りシート)。	160 20	主体性 実行力 発信力 傾聴力 状況把 握力 規律性
5週 /	心理学実験法につ いて学ぶ① (社会心理学実験:潜 在的態度)	講義 グループ討議 心理学実験演習	心理学実験の基礎について理解 できる。また、実際に心理学実 験を体験し、要点を共有できる。	復習:プリントを見 直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	心理学実験法につ いて学ぶ② (社会心理学実験:認 知バイアス)	講義 グループ討議 心理学実験演習	心理学実験の基礎について理解 できる。また、実際に心理学実 験を体験し、要点を共有できる。	復習:プリントを見 直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	心理学実験法につ いて学ぶ③ (学習心理学実験:動 機づけ、自己制御)	講義 グループ討議 心理学実験演習	心理学実験の基礎について理解 できる。また、実際に心理学実 験を体験し、要点を共有できる。	復習:プリントを見 直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
8週 /	心理学実験法について学ぶ④(感情心理学実験：音楽聴取)	講義 グループ討議 心理学実験演習	心理学実験の基礎について理解できる。また、実際に心理学実験を体験し、要点を共有できる。	復習：プリントを見直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
9週 /	心理学実験法について学ぶ⑤(知覚心理学実験：味覚実験)	講義 グループ討議 心理学実験演習	心理学実験の基礎について理解できる。また、実際に心理学実験を体験し、要点を共有できる。	復習：プリントを見直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	心理検査法について学ぶ①(GHQ28、FFPQ-50、社会的望ましさ)	講義 グループ討議 心理検査演習	心理検査法の基礎について理解できる。また、実際に心理検査を体験し、要点を共有できる。	復習：プリントを見直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	心理検査法について学ぶ②(ロールシャッハテスト、解離性障がい判定テスト、ストレスチェック)	講義 グループ討議 心理検査演習	心理検査法の基礎について理解できる。また、実際に心理検査を体験し、要点を共有できる。	復習：プリントを見直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	心理検査法について学ぶ③(承認欲求、自尊感情、自己効力感)	講義 グループ討議 心理検査演習	心理検査法の基礎について理解できる。また、実際に心理検査を体験し、要点を共有できる。	復習：プリントを見直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	心理検査法について学ぶ④(自己愛、社会人基礎力、うつ病スクリーニングチェック)	講義 グループ討議 心理検査演習	心理検査法の基礎について理解できる。また、実際に心理検査を体験し、要点を共有できる。	復習：プリントを見直す。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	げんき館活動を行う(2回目) ※他ゼミとの予定の兼ね合いで、別の週の内容と入れ替える場合がある	地域活動実践	げんき館に実際に行き、未満児や保護者とのねんど遊びを通じた交流を行う。必要な援助、指導を行う。また、自己俯瞰方略を実際に用いて状況を把握することができる。	予習：手遊び歌、自己俯瞰方略について確認する。 復習：活動中の出来事について振り返る(げんき館活動振り返りシート)。	160 20	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
15週 /	全体の振り返りとまとめを行う 後期の計画について周知する	講義 グループ討議 質疑応答	前期のゼミ活動を自らまとめ理解できる。また、後期のゼミ活動の概要について理解できる。	予習、復習：プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	児玉 珠美	専門	1	必修	2年前期
科目の概要						
<p>幼稚園教育要領及び保育所保育指針等を踏まえ、各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。</p> <p>幼児学ゼミナール I では、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館における模擬保育活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>①幼稚園教育要領及び保育所保育士指針の内容を理解し、子どもの発達過程に沿った教材の活用方法を研究する。</p> <p>②、子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究する。</p> <p>③岡崎げんき館の模擬保育活動に向けて指導案を作成し、実践を通して子どもが楽しむことができる昔話の表現方法と指導法について学ぶ。</p> <p>④グループの一員としての責任ある行動と主体的な姿勢による指導法研究活動を通して、保育者としての協働意識を育む。</p>			<p>①幼稚園教育要領及び保育所保育士指針の内容を理解し、子どもの発達過程に沿った教材の活用方法を研究することができる。</p> <p>②子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究することができる。</p> <p>③岡崎げんき館の模擬保育活動に向けて指導案を作成し、実践を通して子どもが楽しむことができる昔話の表現方法と指導法について学ぶことができる。</p> <p>④グループの一員としての責任ある行動と主体的な姿勢による指導法研究活動を通して、保育者としての協働意識を育むことができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	様々な昔話について文献等を使って調べることができる。				
	働きかけ力	グループワークにおいて他の学生に自分から積極的に話しかけ、相互作用がスムーズに行く努力をすることができる。				
	実行力	決められた期限までに、課題を完成させることができる。				
考え抜く力	課題発見力	自分の不足している力に気付き、克服するための課題を明確にし、具体的な努力をしていくことができる。				
	計画力	課題を期限までに終えることができるよう、手順や役割分担を考えて計画していくことができる。				
	創造力	昔話の世界を広げていくために、自分の得意な表現を活かした創意工夫をすることができる。				
チームで働く力	発信力	グループワークやゼミ全体の討議において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。				
	傾聴力	他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	今置かれている状況や何をすべきかということを理解し、その場に合った言動や作業ができる。				
	規律性	集団学修という視点を常に持ち、自らの言動の他者への影響を考慮し、他者の学修の権利を遵守することができる。				
	ストレスコントロール力	グループワークにおいて、対立する意見等があった場合にも、感情をコントロールする方法を見出し、冷静に対応する努力ができる。				
テキスト及び参考文献						
幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領・保育所保育指針						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:すべての開講科目						
資格との関連:幼稚園教諭二種免許、保育士資格						
学修上の助言			受講生とのルール			
幼児学ゼミナールは、保育者養成のすべての学びを総合的かつ実践的に活かしていく授業である。主体的、対話的な姿勢で臨むこと。			<ul style="list-style-type: none"> ・無遅刻・無欠席を厳守すること。 ・結果のみではなく、過程の意欲と努力を評価する。 ・ゼミ全体が前向きな雰囲気になる言動を心がけること。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎げんき館での模擬保育までの経過を写真等を含め、記録していくこと。 ・発表後、それまでの取り組みについてレポートとしてまとめ、幼児学ゼミナール研究報告原稿を少しずつ作成していくこと。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案作成や発表に向けて、積極的にグループワークに参加すること。 ・岡崎げんき館での模擬保育に向けて、各グループや個人の自主的な練習に取り組むこと。 ・発表の成果と共に、発表までの取り組みの姿勢を重視した評価をする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 様々な昔話について文献等を使って調べることができる。 (実行力) 決められた期限までに、課題を完成させることができる。 (課題発見力) 自分の不足している力に気付き、克服するための課題を明確にし、具体的な努力をしていくことができる。 (創造力) 昔話の世界を広げていくために、自分の得意な表現を活かした創意工夫をすることができる。 (発信力) グループワークやゼミ全体の討議において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。 (傾聴力) 他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。 (規則性) 集団学修という視点を常に持ち、自らの言動の他者への影響を考慮し、他者の学修の権利を遵守することができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
①幼稚園教育要領及び保育所保育士指針の内容を完璧に理解し、子どもの発達過程に沿った教材の活用方法を主体的に研究することができる。 ②子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を積極的に研究することができる。 ③岡崎げんき館の模擬保育活動に向けて熟慮した指導案を作成し、実践を通して子どもが楽しむことができる昔話の表現方法と指導法について深く学ぶことができる。 ④グループの一員としての責任ある行動と主体的な姿勢による指導法研究活動を通して、保育者としての協働意識を育むことができる。	①幼稚園教育要領及び保育所保育士指針の内容を理解し、子どもの発達過程に沿った情報機器及び教材の活用方法を研究することができる。 ②子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究することができる。 ③岡崎げんき館の模擬保育活動に向けて指導案を作成し、実践を通して子どもが楽しむことができる昔話の表現方法と指導法について学ぶことができる。 ④グループの一員としての責任ある指導法研究活動を通して、保育者としての協働意識を育むことができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション ゼミメンバーの自己紹介を行う。1年間のゼミナールのスケジュールと目標を確認する。ゼミで取り組みたい内容等を各自発表する。昔話の魅力について考える。	演習	ゼミの目的とスケジュールについて理解できる。自分の取り組みたい内容を発表し、主体的に関わる意識を持つことができる。	(予習)本ゼミナールを選んだ理由、何がしたいかな等を発表できるようにしておく。	90	主体性 傾聴力 規則性
2週 /	幼稚園教育要・保育所保育指針等の内容を復習し、3歳未満の子どもたちの発達過程について確認する。発達過程の沿った昔話の素材を発表する。3～4名ずつのグループをつくり、昔話の候補を考える。	演習	選択した昔話が3歳未満の子どもにとって理解できる内容であるか、どのような魅力があるか説明することができる。	(予習)自分の好きな昔話について調べる。昔話を子どもたちに伝える意味について考える。	90	主体性 傾聴力 規則性
3週 /	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る。様々な領域の特性を活かした模擬保育について学ぶ。	演習 (1・2年合同ゼミ)	1年生との対話交流を積極的にすることができる。様々な領域の特性について理解することができる。	(予習)1・2年合同ゼミナールで行う内容を確認する。	90	主体性 情況把握力 働きかけ力
4週 /	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る。様々な領域の特性を活かした模擬保育について学ぶ。	演習 (1・2年合同ゼミ)	1年生との対話交流を積極的にすることができる。様々な領域の特性について理解することができる。	(予習)1・2年合同ゼミナールで行う内容を確認する。	90	主体性 情況把握力 働きかけ力
5週 /	岡崎げんき館見学 他のゼミナールの発表見学を通して、自分たちの発表のイメージ創りをする。他の領域の特性について学ぶ。	演習	他のゼミナールの発表を通して、自分たちの発表のイメージ創りができる。	(復習)子どもたちの反応等の観察を通して、自分たちの発表について構成を考える。	90	主体性 情況把握力 課題発見力
6週 /	脚本創り①昔話の絵コンテ作成案をグループごとに検討し、紙芝居の全体構成を決定する。原本となる本を持参し、子どもたちの認識や思考等の発達過程を考慮した上で、子どもたちが楽しめる構成を考える。発表の役割分担をする	演習	昔話の絵コンテを作成し、子どもたちの発達過程に沿った表現方法について考え、グループワークに協力することができる。	(予習)3歳未満の発達過程を考慮した昔話の絵コンテ案を各自作成しておく。	90	主体性 創造力 計画力 柔軟性
7週 /	昔話の脚本創り②絵コンテを基に、子どもたちが参加したり興味関心を持つ表現工夫をしながら、昔話を脚本化する。途中までチーム相互に聴き合い、意見交換する	演習	子どもたちが楽しめる表現工夫について考え、脚本に活かしていくことができる。昔話の世界を伝える語りの特徴について理解し、表現工夫の努力をすることができる。	(予習)担当場面の脚本を作成する。 (復習)昔話の語りについての特徴を表現できるように練習する。	90	傾聴力 働きかけ力 創造力 計画力 柔軟性
8週 /	昔話の脚本創り③絵コンテを基に、子どもたちが参加したり興味関心を持つ表現工夫をしながら、昔話の脚本化を完成させ、練習する。	演習	グループワークに協力し、昔話の脚本化を完成させることができる。	(予習)発表時に必要な役割について一覧を作成する。	90	主体性 実行力 創造力 計画力 柔軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	昔話のパネル絵作成①脚本に沿って、絵コンテを基にした絵を描く。子どもたちの発達過程を考慮した絵を考える。	演習	グループワークに協力し、子どもたちの発達過程を考慮した絵を考えることができる。発表の場面を予想し、役割担当を考え自主的に引き受けることができる」。	(復習)絵の作業が遅れているグループは自主的に作業に取りむようにする。	90	主体性 実行力 創造力 計画力 柔軟性
10週 /	昔話のパネル絵作成②脚本に沿って、絵コンテを基にした絵を描く。模擬保育の指導案をグループで検討する。	演習	グループワークに協力し、パネル絵を完成することができる。	(予習)完成を目標に、絵の作業を進めておく。	90	主体性 実行力 創造力 計画力 柔軟性
11週 /	昔話のパネル絵作成③絵を完成させる。当日の模擬保育の指導案を作成し、内容確認する。	演習	グループワークに協力し、パネル絵を完成することができる。各担当者の活動を支え、応援する姿勢を持つことができる。	(予習)模擬保育の指導案を作成する。	90	発信力 傾聴力 実行力 創造力 計画力 柔軟性
12週 /	指導案に沿って、模擬保育の練習をする。進行等を確認しながら、発表の全体通し練習をする。練習後に意見交換しながら、各チームの課題を明確し、指導案を修正する。	演習	発表練習の状況を理解し、言われる前に気付き、進んで動くことができる。練習後に各チームの課題について発言することができる。	(予習)指導案の内容について練習する。 (復習)各チームの課題について、それぞれ自主的に練習をする。	90	発信力 状況把握力 働きかけ力 柔軟性 課題発見力
13週 /	修正した指導案に沿って、岡崎げんき館発表リハーサルをする。本番通りに進行し、発表する。その際に、子どもたち役の学生たちは、予想した反応をする。	演習	途中でうまくいかないことがあっても、グループメンバーで助け合い、進行することができる。	(復習)リハーサルでうまくできなかった点について、振り返り練習する。	90	発信力 状況把握力 働きかけ力 柔軟性 課題発見力
14週 /	岡崎げんき館活動 岡崎げんき館において、「むかしばなしっておもしろい！」第1回を実施する。	演習	はじまる前から笑顔で元気に子どもたちとの交流をすることができる。子どもたちの様子を観察し、臨機応変に対応する姿勢を持つことができる。	(予習)できなかった点について各自繰り返し練習をする。 (復習)岡崎げんき館発表の振り返りシートに記入する。	90	主体性 発信力 状況把握力 柔軟性
15週 /	岡崎げんき館発表及び発表までの取り組みについての資料をまとめる。後期の岡崎げんき館発表第2回目に向けての課題を明らかにし、指導案の改善点を確認する。	演習	自分たちの表現に対する子どもたちの様子や反応について、振り返ることができる。後期に向けて、課題を見出し、解決に向けて目標を設定し、具体的な計画を立てることができる。	(予習)発表までの取り組みについての資料をまとめる。	90	傾聴力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	指導法研究 I (幼児学ゼミナール I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	石川博章	専門	1	必修	2年前期
科目の概要						
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。 幼児学ゼミナール I では、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。						
学修内容			到達目標			
①子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができるようにする。 ②造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。			①子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。 ②造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考慮して期限内に完成できるように進めることができる。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるることができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる				
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。				
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> 自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
・特になし						

他科目との関連、資格との関連	
他科目との関連:造形Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、表現、 資格との関連:幼稚園教諭、保育士	
学修上の助言	受講生とのルール
・学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・20分を超えた遅刻は、欠席扱いとする ・すべての提出物を出さないと及第しない。 ・欠席はマイナスに評価する。 ・提出期限に遅れた場合はマイナスに評価する。 ・授業態度が悪い場合はマイナスに評価することがある。 ・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	45	①	✓	ものづくり計画をしっかりと立案できたか。 段取りがしっかりとできたか 制作を完遂できたか。
		②	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	主体性を持って取り組めたか 計画的に取り組むことができたか
		②	✓	
その他	45	①	✓	ものづくり計画を立案し、子どもへの指導へ敷衍しながら、取り組むことができたか。 教材研究にしっかりと取り組めたか。
		②	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>グループ内で協力しながら、子どもの育ちを理解し、適した造形あそびを計画立案し、指導案を完成させ、実施することができるようにする。</p> <p>子どものことを考えながら、造形素材について会得し、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。</p>	<p>子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。</p> <p>造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション	講義				
2週 ～ 4週	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習	計画立案ができる	グループ活動の内容を考え、検討する。		主体性 計画力
5週 /	造形あそびの実践① (岡崎げんき館活動)	学外活動	指導ができる 親と関われる	活動の準備、および反省・まとめをする		主体性
6、 7週	グループ活動(取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、役割分担、子どもと一緒にいる場合の指導法の検討、その素材について予習、全員への周知等)	演習	計画立案ができる	グループ活動の内容を考え、検討する。		主体性 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
8週 ～ 10週 / /	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ一日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、やきもの、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3 時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動	作品制作できる	活動の準備、および反省・まとめをする		主体性 創造力
11、 12週 / /	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、役割分担、子どもと一緒にいる場合の指導法の検討、その素材について予習、全員への周知等)	演習	計画立案ができる	グループ活動の内容を考え、検討する。		主体性 計画力
13週 ～ 15週 / / まとめ	ものづくり活動の実践② (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ一日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、やきもの、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3 時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動	作品制作できる	活動の準備、および反省・まとめをする		主体性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I (指導法研究 I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	谷村 和秀	専門	1	必修	2年前期

科目の概要

- ① 1年間、10名近くのグループでゼミナールを展開していく、お互いが高められるように仲間づくりを行う。
 ② 岡崎げんき館の活動では、親子に楽しんでもらえる遊びを考え、実施し、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。
 ③ 放課後等デイサービスの活動では、利用している障がいのある子どもを理解した上で、楽しんでもらえる遊びを考え、実施する。

学修内容	到達目標
① チームメンバーで協働していくことを学ぶ。 ② 乳幼児とその保護者が楽しめる遊びの展開方法を学ぶ。 ③ 放課後等デイサービスについて学ぶ。 ④ 障がいのある子どもを理解したい上で、楽しめる遊びを計画し、実施し、評価する。	① チームメンバーの名前を覚え、意見が交換できるようになる ② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画し、実施できる。 ③ 放課後等デイサービスの役割・機能が理解できる。 ④ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画し、実施できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。	

テキスト及び参考文献

テキスト: 特になし
 参考文献: 保育所保育指針・幼稚園教育要領

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: すべての開講科目
 資格との関連: 保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
幼児学ゼミナールは学生が主体的に活動を行う科目です。だから、与えられた課題は決められた日に提示できるようにすること。	① 無断欠席や遅刻をしない学生 ② 積極的にゼミ活動に参加できる学生 ③ 自己選択・自己責任ができる学生

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート		①	① 岡崎げんき館の活動を通して、学んだこと考えたことをまとめる ② 放課後等デイサービス「HOPE」の活動を通して、学んだこと・考えてことをまとめる。
		②	
		③	
		④	
成果発表 (口頭・実技)			
作品			
社会人基礎力 (学修態度)		①	(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修することができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) ゼミメンバー及び利用者(親子・障がいのある子ども)に伝わるように表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 (規則性) ・授業開始から15分以内に入室した者は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 ・授業開始から15分を超えて入室した者は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
		②	
		③	
		④	
その他		①	・ゼミメンバー間で話し合う機会が多いため、意見をもって発言することも大切ですが、相手の話を聞きことも大切である
		②	
		③	
		④	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① チームメンバーの名前を覚え、意見が交換できるようになる	① チームメンバーの名前を覚え、学生の考えや意見が伝えることができる
② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画し、実施できる	② 乳幼児とその保護者に対して、遊びが計画できる。
③ 放課後等デイサービスの役割・機能が理解できる。	③ 放課後等デイサービスの役割・機能が理解できる。
④ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画し、実施できる。	④ 障がいのある子どもに対して、遊びが計画できる
⑤ 総合評価が90点以上はS(秀)、89～80点はA(優)とする	⑤ 総合評価が79～70点はB(良)、69～60点はC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	①ゼミメンバーの自己紹介を行う。 ②1年間のゼミナールのスケジュールを確認する	演習	①ゼミメンバーの顔と名前が一致できる。 ②1年間のゼミナールのスケジュールを確認する	(予習) ・ゼミナールのメンバーを確認する。 ・シラバスを確認する	180	主体性 傾聴力 計画力
2週 /	①レクリエーションを通して、ゼミメンバーの交流を行う。	演習	①アイスブレイクの意味が理解できる。 ②ゼミメンバーの特徴が理解できる	(予習) ゼミメンバーを確認する (復習) アイスブレイクの方法を考える	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力
3週 /	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る	練習 (1・2年合同ゼミ)	①後輩に対する気配りができる	(予習) 1・2年合同ゼミナールで行う内容を確認する。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性
4週 /	1・2年合同ゼミナールを通して、1・2年及び教職員との交流を図る	演習 (1・2年合同ゼミ)	①行事の企画・運営方法が理解できる。	(復習) 1・2年合同ゼミナールを企画・運営するのであれば、どのような内容で行うか考える。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性
5週 /	岡崎げんき館活動の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習) 岡崎げんき館活動について、抄録集を読むこと (復習) 乳幼児の遊びを調べる。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
6週 /	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導案が考えることができる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
7週 /	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で作成した指導案に基づいて、制作やリハーサルを行う。	演習	①岡崎げんき館活動で行う内容が理解できる	(予習) 前回の演習で作成した指導案に基づいて、準備物を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動で行うことを確認する。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
8週 /	岡崎げんき館活動 ①子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習 (岡崎げんき館)	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 柔軟性 想像力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / /	岡崎げんき館活動を振り返る(レポート作成)	演習	①親子に対して考えた遊びを評価することができる	(予習) 岡崎げんき館活動の振り返りを行う (復習) 親子に対しての遊びを確認する。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
10週 / /	HOPEでのゼミ活動の準備 ①放課後等デイサービスについて、学ぶ。	講義・演習 【ゲストスピーカー: HOPE 職員】	①放課後等デイサービスの役割、利用者が理解できる。	(予習) 放課後等デイサービスについて、調べる (復習) 放課後等デイサービスについて、まとめる。	180	主体性 発信力 傾聴力 規則性 想像力
11週 / /	HOPEでのゼミ活動の準備 ①放課後等デイサービスを利用している子どもに対しての遊びを調べる	演習	①障がいのある子ども(知的障がい、発達障がい)の特性が理解できる。 ②障がいのある子どもに対しての遊びが展開できる。	(予習) 障がいのある子どもの特性を調べる。 (復習) 障がいのある子どもに対しての遊びを調べる	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
12週 / /	HOPEでのゼミ活動の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、企画立案を行う。	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
13週 / /	HOPEでのゼミ活動 ①立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの展開方法が理解できる	(予習) ①放課後等デイサービスの役割を確認する。 ②立案した遊びを確認する。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 柔軟性 想像力
14週 / /	HOPEでのゼミ活動 ①職員が考えたプログラムに参加する。	演習	障がいのある子どもに関わる視点が理解できる。	(復習) ①HOPEでの活動を振り返る。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 柔軟性 想像力
15週 / /	HOPEでのゼミ活動の振り返りを行う(レポート作成)	演習	障がいのある子どもに対しての遊びのプロセスが理解できる	(予習) ①HOPEでの活動を振り返る。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I (指導法研究 I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	津島 忍	専門	1	必修	2年前期
科目の概要						
各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。 幼児学ゼミナール I では、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。						
学修内容			到達目標			
①ピアノ連弾の学修では、親子で演奏する連弾曲を2人1組のグループで練習し、基礎的な奏法および表現力を学ぶ。 ②岡崎げんき館では「楽器で遊ぼう」をテーマに楽器を使い親子で楽しむ音楽遊びの実践を行う。			①親子で行うピアノ連弾の音楽表現を支援するための基礎的知識と技能を習得できる。 ②岡崎げんき館での楽器遊びの実践を通して、保育現場で実践できる基本的知識や技能を習得できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるように進めることができる。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこととなくいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。				
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:「いちばんやさしいピアノ連弾シリーズ」スタジオジブリ名曲集・ディズニー名曲集・こどものうた・ディズニープリンセス 各 1,600 円 ヤマハミュージックパブリッシング刊 いずれかの曲を使用する。その他に必要なに応じて資料を配布することがある。 参考文献:「わくわく音遊びでかんたん発表会」細田淳子 著 鈴木出版 1,800 円 その他に必要なに応じて資料を配布することがある。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 幼児表現(音楽 I・II・III・IV)、保育内容(表現) 資格との関連: 幼稚園教諭二種免許状、保育士資格						
学修上の助言			受講生とのルール			
連弾の練習の前に個人での予習(練習)が必要です。また連弾の練習においても、時間外での予習・復習(練習)が必ず必要です。積極的な意見の交換が必要です。			2 人一組での練習が欠かせないので、最低限守るべきルール・マナー・約束を理解し、相手に迷惑をかけない。げんき館での活動は集団でのチームワークを意識する。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	5	①	✓	・欠席した学生は、学習している曲を練習し、次週の授業時に教員の前で発表する。発表できない場合は1回につき1点減点とする。
		②		
成果発表 (口頭・実技)	85	①	✓	・9 週目・15 週目の授業においてゼミ内で発表会を行い、親子のための連弾における表現を支えるに相応しい表現力、技術力を発表する。 ・岡崎げんき館での活動内容の準備及び本番での活動状況を【到達目標の基準】に基づいて評価する。
		②	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)(実行力)(課題発見力) ・苦手な部分の克服や技術の習得のために自ら練習をすることができる。 (創造力)(発信力) ・発表・演奏において、学んだことを更に工夫し発表することができる。 (規律性)(傾聴力) ・相手に迷惑をかけない。グループ活動へ積極的に関わる。楽譜を忘れたら、1回につき1点を減点する。 ・遅刻は授業開始 20 分まで。超えたら欠席とみなす。学習意欲欠如(練習不足、受講態度など)が見られる場合は減点する。
		②	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ連弾において A(優)は曲を情感豊かに表現し、演奏技術の上達、獲得が顕著にみられる演奏ができる。S(秀)は演奏表現、技術に特に優れ、常に安定した表情豊かな演奏ができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ連弾において B(良)は曲を間違えることなく最後まで演奏し、演奏技術の上達、獲得がみられる。C(可)は二人で合わせて最後まで演奏することができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 授業の進め方 (連弾の学修方法について) 連弾の基本的な知識の学習 連弾曲の個人練習と指導	講義・演習	連弾曲を個人練習し、 相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人練習 (復習)問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
2週 /	連弾の基本的な知識の学習 連弾曲の個人練習と指導	演習 (個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人練習し、 相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人練習 (復習)ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
3週 /	連弾の基本的な知識の学習 連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
4週 /	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動に向けての内容・企画の検討と指導案の作成 連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (ペアでの練習およびペアでの指導、全員参加の企画会議) フィードバックはレッスン内で行う。	企画会議に積極的に参加し、協力して計画を立案検討できる。 連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる	(予習)連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習)岡崎げんき館の企画内容の整理	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
5週 /	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動に向けての内容・企画の検討と指導案に基づいた模擬実習の実施と改善	演習 (全員参加の企画会議および模擬実習の実施と改善方法の検討)	企画案に基づき、模擬実習を実施し、改善案を提案できる。	(予習)岡崎げんき館の企画内容の確認と改善 何の検討(復習)岡崎げんき館の企画内容の整理	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
6週 /	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動	演習 (全員参加の岡崎げんき館での実践発表)	準備した内容を実施できる。	(予習)岡崎げんき館の企画内容の確認 (復習)岡崎げんき館の企画内容の反省点の洗い出し	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
7週 /	岡崎げんき館での「楽器で遊ぼう」の活動の振り返り 連弾曲の個人練習と指導	演習 (岡崎げんき館での実践の反省会、個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	反省を行い、次回への課題を発見できる。 連弾曲を個人練習し最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)岡崎げんき館の企画内容の問題点の洗い出し (復習)個人での練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
8週 /	連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペア で練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	ゼミ内での中間発表 到達度の確認	演習 (お互いの演奏を聞き合い、現状把握と今度の練習日程の修正) フィードバックはレッスン内で行う。	お互いの演奏を聞き合い、現状把握と今度の練習日程の修正などを検討し、練習に反映できる。	(予習)連弾曲の中間発表に向けての個人およびペアでの練習 (復習)中間発表での講評を受けての問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
10週 /	連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
11週 /	連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
12週 /	連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
13週 /	連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
14週 /	連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (個人練習および個人指導、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲を個人及びペアで練習し、相手と合わせて最後まで演奏し、指導を理解し実行できる。	(予習)連弾曲の個人およびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指導を受けた問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
15週 /	連弾曲の発表と反省	演習 (発表会形式による演奏と反省会) フィードバックは講評で行う。	演奏会形式の内容を準備し発表することができる。 また反省会において個人およびペアの反省点を述べることができる。	(予習)連弾曲の発表に向けての個人およびペアでの練習 (復習)発表での講評を受けての問題点の克服のための練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I (指導法研究 I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	本多峰和	専門	1	必修	2 年前期

科目の概要

「子どもの歌を考えよう」をゼミタイトルとする。子どもの歌は「わらべうた」、「唱歌」、「童謡」、「あそびうた」、外国のメロディに日本語の歌詞をつけた歌、などに分けられる。そこで「わらべうた」「唱歌」「童謡」はどのように違うのか。また「わらべうた」や「唱歌」の歌詞の中には現在あまり使われなくなってしまう言葉や、風景が歌われている。それらの歌詞の意味、日本の風景、曲にまつわる歴史などを調べ、曲を深く理解する。①子どもの歌の分類、②歌詞の意味、歴史を調べる。以上 2 点を柱とし研究する。げんき館では、親子で楽しく歌ったり、踊ったりすることを活動目標とする。

学修内容	到達目標
① 「わらべうた」「唱歌」「童謡」の違いを知る。 ② 「わらべうた」「唱歌」の歌詞の意味を知る。 ③ 「童謡」にまつわる歴史を知る。 ④ げんき館に向けて指導案を考える。 ⑤ げんき館の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わる。	① 「わらべうた」「唱歌」「童謡」の違いについて説明できる。 ② 「わらべうた」「唱歌」の歌詞の意味について説明できる。 ③ 「童謡」にまつわる歴史について説明できる。 ④ げんき館に向けて指導案を考えることができる。 ⑤ げんき館の活動において、子どもたちと保護者に積極的に関わるができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学習をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	実践を行うための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるように進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。	

テキスト及び参考文献

参考文献:「子どものあそびうた」小泉文夫著、「童謡はどこへ消えた」服部公一著、「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部、「東京童謡散歩」藤田圭雄著、「童謡・唱歌の世界」金田一春彦著、「名作童謡ふしぎ物語」上田信道、「童謡 心に残る歌とその時代」海沼実著、「唱歌・童謡 100 の真実」竹内貴久雄著、「童謡の風景 1・2・3」合田道人文 村上保絵、「わらべうたが子どもを救う」大島清・大熊進子・岩井正浩著、「わらべうた」町田喜章・浅野健二編、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著、「保育内容 音楽表現」大畑祥子編著、「幼児の音楽教育」音楽教育研究協会編

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 幼児音楽表現 I・II・III
資格との関連: 幼稚園教諭二種免許状、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加および活動。	欠席をしない。学生相互の協力関係。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	25	①		げんき館での活動についての振り返りおよび反省レポートを提出し、評価する。1000～1200字 後日提出したものは80%の評価とする。
		②		
		③		
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	25	①	✓	「わらべうた」「唱歌」「童謡」について調べたことを発表する。 後日発表したものは80%の評価とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	50	①	✓	(主体性) 課題に取り組むにあたり、必要な知識や文献を用いて自己学習することができたか。 (実行力) 一度決めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (創造力) 物事を考える時に、固定観念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義で身に付けた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。 (規則性) ・授業開始から15分以内に入室した場合は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 ・授業開始から15分を超えて入室した場合は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)の基準 協調性を持ち、積極的に真面目な取り組みができており、研究課題に対して深く理解をしている。</p> <p>A(優)の基準 協調性を持ち、積極的に真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。</p>	<p>B(良)の基準 協調性を持ち、真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。</p> <p>C(可)の基準 協調性を持ち、研究課題に対して理解をしている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション ゼミの概要説明	講義	ゼミ内容を理解し、「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」から興味のあるものを選択する。ゼミの内容を理解できる。	(復習) 「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」のおさらい。	45	主体性 規律性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
2週 /	「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」をまとめる。	調べ学習 フィードバック (調べ学習の内容を評価する)	文献を使い積極的に課題に取り組むことができる。	(復習) 調べたことを見直す	45	主体性 規律性 働きかけ力
3週 4週 /	チームで働く力を高める 1・2年生合同ゼミ	演習 演習	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(復習) レポートを作成する	60	主体性 規律性 働きかけ力 発信力
5週 /	「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」をまとめる。	調べ学習 グループ討議 フィードバック (調べ学習の内容を評価する)	文献を使い積極的に課題に取り組むことができる。	(復習) 調べたことを見直す	45	主体性 規律性 働きかけ力
6週 /	「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」をまとめる。	調べ学習 グループ討議 フィードバック (調べ学習の内容を評価する)	「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」をより分かりやすく発表できるようまとめる。積極的に課題に取り組み分かりやすくまとめることができる。	(復習) 調べたことを見直す	45	主体性 規律性 働きかけ力
7週 /	「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」をまとめたものを発表。	調べ学習 グループ討議 発表 フィードバック (発表を評価する)	「わらべうた」「唱歌・童謡」「子どものうた」をグループごとに発表する。自信を持って発表することができる。	(復習) 調べたことを見直す	45	主体性 規律性 働きかけ力
8週 /	ピアノの連弾	演習 フィードバック (演奏を評価する)	よく知られた童謡をピアノで連弾する。歌だけではなくピアノで連弾することで、子どものうたの世界を広げることができる。	(復習) 童謡のおさらいをする。	45	主体性 規律性 働きかけ力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	「唱歌・童謡」の共通曲を調べる。	演習 フィードバック (演習内容を評価する)	「唱歌・童謡」にはどちらともとれる共通曲があることを知り、歌う。歌うことで、唱歌・童謡の理解を深める。	(復習) 唱歌・童謡のおさらいをする。	45	主体性 規律性 働きかけ力
10週 /	「げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	自身のアイディアや意見交換をしながら活動内容を考える。	(予習) 手あそびうたを調べておく。 (復習) 手あそびうたのおさらい。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力
11週 /	「げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	自身のアイディアや意見交換をしながら活動内容を考える。	(予習) 0-3歳児向けのわらべうた・唱歌・童謡を考えておく。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力
12週 /	「げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	「げんき館」で使用する絵本を吟味する。声に出して読んだり聞くことで「げんき館」で行う読み聞かせのイメージができる。	(予習) 絵本の下調べをしておく。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力
13週 /	「げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	「げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業ができる。	(予習) 手作り楽器を調べておく。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力
14週 /	「げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 フィードバック (演習内容を評価する)	「げんき館」で使用する手作り楽器作り。音の違いや、安全面を考えながら作業ができる。	(復習) 手作り楽器の補修など安全面にもう一度配慮する。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力
15週 /	「げんき館」での活動および振り返り	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	「げんき館」での活動をふり振り返り、文書にまとめる。「げんき館」での活動を各自が振り返ることで今後の活動を高めることができる。	(復習) げんき館での活動の反省と振り返りをする。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 柔軟性 傾聴力 課題発見力 創造力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52316	幼児学ゼミナール I (指導法研究 I) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education I	服部 壮一郎	専門	1	必修	2 年前期
科目の概要						
<p>各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。</p> <p>幼児学ゼミナール I では、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館の活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。</p> <p>② 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める</p> <p>③ 岡崎げんき館にて子どもたちと実践的に関わる。</p>			<p>① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。</p> <p>② 研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。</p> <p>③ 岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組み、その体験をもとに保育実践に連動して考えることができるようになる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるることができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。				
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> 自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト: 各ゼミナールにて提示される</p> <p>参考文献: なし</p>						

他科目との関連、資格との関連	
他科目との関連:すべての科目と関連する。 資格との関連:保育士、幼稚園教諭二種免許	
学修上の助言	受講生とのルール
学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。	欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	80	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 各ゼミナールの担当教員が評価する。 「研究課題への取り組み」や「活動に対しての説教的参加態度」、「げんき館での活動」が評価する。
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 課題を取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義で身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) 許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
		②	✓	
		③	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。</p> <p>学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。</p> <p>総合評価 90 以上はS(秀)、89～80 はA(優)とする</p>	<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。</p> <p>総合評価 79～70 はB(良)、69～60 はC(可)とする</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション ゼミナールの目的と内容について確認する。	演習	ゼミの活動を理解し、 個人の目標を設定する。	(予習)シラバスを参照しておく。	120	主体性 実行力 傾聴力
2週 /	ゼミ活動の予定を企画・立案する。	演習 グループワーク	自分の考えを伝え、他の学生と協力してゼミを運営できる。	(予習)教材を考えておく。	180	主体性 実行力 傾聴力
3週 /	読み聞かせの教育的意義(1) 絵本の世界に触れ、発達との関連を学ぶ。	演習	読み聞かせの教育的意義を理解し、読み継がれる絵本の特徴を知る。	(予習)教材の内容を理解しておく。	180	主体性 実行力 傾聴力
4週 /	読み聞かせの教育的意義(2) 児童文学の歴史を学ぶ。	演習	児童文学の歴史を知る。	(復習)配布資料を読み返し、理解を深める。	180	主体性 実行力 傾聴力
5週 /	読み聞かせの方法(1) 絵本の上手な読み聞かせ方について学ぶ。	演習 グループワーク	上手な読み聞かせの方法を理解する。	(復習)学んだ方法を練習する。	180	主体性 実行力 傾聴力
6週 /	読み聞かせの方法(2) 読み聞かせの会を開催する方法について学ぶ。	演習 グループワーク	読み聞かせの会を成功させるためのポイントを理解する。	(復習)学んだ内容を整理する。	180	主体性 実行力 傾聴力
7週 /	読み聞かせの方法(3) 子どもとのふれあい方や注意事項について学ぶ。	演習 グループワーク	手遊びや関連する出し物を実践することができる。	(復習)手遊びや出し物を練習する。	180	主体性 実行力 傾聴力
8週 /	実践演習(1) ゼミ内で読み聞かせの実践演習を行う。	実践演習 読み聞かせを実践し評価し合う。	ゼミ活動に積極的に参加し、自分の意見を伝える。	(予習)読み聞かせの練習を行う。 (復習)課題を克服する方法を考える。	180	課題発見力 想像力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	実践練習(2) ゼミ内で読み聞かせの実践演習を行う。	実践演習 読み聞かせを実践し 評価し合う。	ゼミ活動に積極的に 参加し、自分の意見を 伝える。	(予習)読み聞かせ の練習を行う。 (復習)課題を克服 する方法を考える。	180	課題発 見力 想像力 発信力
10週 /	実践練習(3) ゼミ内で読み聞かせの実践演習を行う。	実践演習 読み聞かせを実践し 評価し合う。	ゼミ活動に積極的に 参加し、自分の意見を 伝える。	(予習)読み聞かせ の練習を行う。 (復習)課題を克服 する方法を考える。	180	課題発 見力 想像力 発信力
11週 /	岡崎げんき館での活動計画を 企画・立案する。	演習 グループワーク	活動計画の企画・立 案に積極的に参加す る。	岡崎げんき館での活 動の準備をする。	180	発信力 傾聴力 規則性
12週 /	岡崎げんき館での活動計画を もとに役割分担を決める。	演習 グループワーク	主体的に自分の役割 を決めることができる。	岡崎げんき館での活 動の準備をする。	180	発信力 傾聴力 規則性
13週 /	岡崎げんき館での活動計画を もとにリハーサルをする。	演習 グループワーク	活動計画をもとに自分 の役割を理解できる。	岡崎げんき館での活 動の準備をする。	180	発信力 傾聴力 規則性
14週 /	岡崎げんき館での活動計画を もとに実践する。	実践演習	他の学生と協力するこ とができる。	岡崎げんき館での活 動の準備をする。	180	実行力 課題発 見力 規則性
15週 /	岡崎げんき館での実践を振り 返り、課題をまとめる。	演習 グループワーク	自分の課題をあげるこ とができる。	(予習)岡崎げんき館 での実践を振り返っ ておく。	240	実行力 課題発 見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52137	幼児学ゼミナールⅡ(指導法研究Ⅰ) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education I	伊藤 照美	専門	1	必修	2 年後期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。
また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。単位としてはⅠとⅡに分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの授業と受け止めて欲しい。

学修内容	到達目標
①いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ②「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。	①各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ②研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。 ③岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組めるようになる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるように進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト:各ゼミナールにて提示される
参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:すべての科目と関連する。
資格との関連:なし

学修上の助言	受講生とのルール
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート			
成果発表 (口頭・実技)	80	①	<ul style="list-style-type: none"> ・各ゼミナールの担当教員が評価する。 ・「研究報告会への取り組み」や「幼児学ゼミナール抄録集」、「げんき館での活動」が評価される。
		②	
		③	
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) ・授業開始から15分以内に入室した者は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 ・授業開始から15分を超えて入室した者は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
		②	
		③	
その他			
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。 総合評価 90 以上はS(秀)、89～80 はA(優)とする	各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。 総合評価 79～70B(良)、69～60 はC(可)とする

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	岡崎げんき館活動 親子とのふれあい 実践	演習	こどもとの関わりで積極的 に行うことができる	前回の企画立案を 確認しておく	60	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
2週 /	岡崎げんき館活動の振り返り ニュースポーツを子ども向けに アレンジする C	演習 全員で考えてスポー ツをする	ニュースポーツの内容・ ルールが習得できる	適度に運動しておく アレンジを復習する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
3週 /	運動会 A の企画・立案 実践	演習 グループで考えたこ とを教える	発育年齢に応じて、種目 を考えることができる	適度に運動しておく	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
4週 /	運動会 B の企画・立案 実践	演習 グループで考えたこ とを教える	発育年齢に応じて、種目 を考えることができる	適度に運動しておく	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
5週 /	げんき館参加の企画・立案	演習	げんき館の企画立案と準 備を積極的にできる	適度に運動しておく	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
6週 /	岡崎げんき館活動 親子とのふれあい 実践	演習	こどもとの関わりで積極的 に行うことができる	適度に運動しておく	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
7週 /	岡崎げんき館活動の振り返り 幼児学ゼミナール研究報告抄 録集 作成開始	演習	グループ内での役割を理 解できる	適度に運動しておく	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
8週 /	幼児学ゼミナール研究報告抄 録集 作成開始 ゼミナール報告会に向けて	演習 過去の DVD を参考 にする	抄録作成、ゼミナール報 告会への企画立案と準備 を積極的にできる	適度に運動しておく 事前に準備をしてお く	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	幼児学ゼミナール研究報告抄録集 作成開始 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 全員で考える	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる	適度に運動しておく 事前に準備をしておく	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
10週 /	1年生への研究報告会 幼児学ゼミナール研究報告抄録集 作成開始 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 グループで分かれて考える	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる	適度に運動しておく 事前に準備をしておく 事前に曲や振付を考えてくる	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
11週 /	幼児学ゼミナール研究報告抄録集 作成開始 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 グループで考える	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる	適度に運動しておく 創作した動きなどを復習する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
12週 /	幼児学ゼミナール研究報告抄録集 作成開始 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	演習 全員	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる	適度に運動しておく 創作した動きなどを復習する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
13週 /	幼児学ゼミナール研究報告抄録集 完成 提出 ゼミナール報告会に向けて	演習 全員	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的にできる	適度に運動しておく 創作した動きなどを復習・確認する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
14週 /	ゼミナール報告会に向けてリハーサル	演習 全員	これまでの創作が全て完成され、発表できる	適度に運動しておく 創作した動きなどを確認する	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
15週 /	ゼミナール報告会に向けてリハーサル まとめ	演習 全員	これまでの創作が全て完成され、発表できる	適度に運動しておく 報告前の全体確認をする	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	幼児学ゼミナールⅡ(指導法研究Ⅱ) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education I	伊藤智式	専門	1	必修	2年後期
科目の概要						
ゼミナールⅠの授業を発展的に展開していく。 このゼミのテーマは「子どもの遊びを考える」である。実際に子どもの遊びを体験し遊びの楽しさを味わい、新しい遊びを創造すると共に、子どもたちに楽しさを伝える術を学ぶ。また、子どもの遊びや子どもに関する行事についての調査や研究を行う。子どもの遊びを究め、保育者としていつも子どもたちに楽しさを伝えられるピエロのような存在になってほしい。						
学修内容			到達目標			
①子どもの遊び等についての課題を実践する。 ②個人の研究テーマを設定し、取り組む ③「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表の準備と実践をする。 ④「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。			①実践課題を積極的に取り組み、体得する。 ②個人の研究を主体的に取り組み、成果を出す。 ③「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、他者と協力し積極的に取り組む。 ④「岡崎げんき館」にて子どもたちを積極的に取り組む。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるように進めることができる。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果が得られるよう取り組むことができる。				
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
テキスト:特になし。 資料を随時配布する。 参考文献:特になし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:すべての科目と関連する。 資格との関連:幼稚園教諭二種免許状、保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・積極的に参加する。 ・勇気を出して前に踏み出す。			・教員学生間での TPO に応じた礼節を重んじる。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	80	①	✓	・実践課題の達成度(30)
		②	✓	・げんき館での活動成果(10)
		③	✓	・幼児学ゼミナール抄録集の取り組み(10)
		④	✓	・ゼミ研究報告会までの総合的な取り組み(30)
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。(主体性)
		②	✓	・グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。(働きかけ力)
		③	✓	・実践課題を習得できるように粘り強く取り組むことができる。(実行力)
		④	✓	・子どもん遊びや安全管理についての問題点を認識できる。(課題発見力)
				・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。(創造力)
				・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。(発信力)
				・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。(傾聴力)
				・周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。(状況把握力)
				・集団でのルールやマナーを守ることができる。(規律性)
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
ゼミの課題に対して積極的に取り組み、ゼミで学んだ研究成果や表現技能、指導法などを応用的に実践することができる。(A)。 学習修得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。(S)	ゼミの課題に対して取り組むことができる。(C) 個人やグループにおいて、研究成果や表現技能などを具体的に実践することができる。(B)

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	後期ゼミナールⅡ目的と内容について確認する。個人の研究テーマを確認する。	演習	ゼミの活動を理解し、個人の目標を設定する。	これまでの個人研究を休み期間中にまとめる。	60	主体性 実行力 傾聴力
2週 /	幼児学ゼミナール報告会の企画を考える。	演習	幼児学ゼミナール報告会の企画を理解できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	実行力 課題発見力 規則性
3週 /	子どもの遊び、石蹴り、お手玉などを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	子どもの遊び、石蹴り、お手玉などの遊び方を習得できる。指導法を理解できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
4週 /	子どもの遊び、ゴムとび、バンブーダンス、ボールあそびを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	子どもの遊び、ゴムとび、バンブーダンス、ボールあそびの遊び方を習得できる。指導法を理解できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
5週 /	子どもの遊び、竹馬、缶ぽっくりなどを体験し指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	子どもの遊び、竹馬、缶ぽっくりなど遊び方を習得できる。指導法を理解できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
6週 /	子どもに関する行事、おこしものづくりを体験し、幼児への指導法を学ぶ。	演習、実技 実技についての相互評価	おこしものづくりと幼児への指導法を理解できる。	遊びについての個人研究を行う。	45	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規則性
7週 /	個人研究中間発表	演習 発表についての相互評価	子どもの遊びについての個人研究の中間発表ができる。	個人研究の中間発表を準備してくる。	60	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
8週 /	岡崎げんき館での活動を企画・立案する。	演習 立案用紙の評価	積極的に参加し、岡崎げんき館での活動を企画・立案をできる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	30	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	岡崎げんき館での活動計画を再考し、リハーサルをする。	演習、実技 実技についての 相互評価	岡崎げんき館での活動計画を理解できる。自分の役割を認識できる。	岡崎げんき館での活動のための資料・用具を準備する。	30	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
10週 /	岡崎げんき館での実践予定をもとに役割分担に対して責任を持ち実践する。	実技 実践評価	自分の役割を理解し実践できる。	自分の役割を理解し実践できるように予習しておく。反省点を振り返る。	45	実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規則性
11週 /	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習 抄録についての 相互評価	幼児学ゼミナール抄録集の担当箇所を作成できる。	個人研究をまとめておく。	60	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
12週 /	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習 抄録についての 相互評価	幼児学ゼミナール抄録集を作成できる。	幼児学ゼミナール抄録集を校正する。	30	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
13週 /	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	演習、実技 実技についての 相互評価	幼児学ゼミナール報告会の準備ができる。	幼児学ゼミナール報告会のための資料・用具を準備する。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
14週 /	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	演習、実技 実技についての 相互評価	幼児学ゼミナール報告会の準備ができる。	幼児学ゼミナール報告会のための資料・用具を準備する。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
15週 /	幼児学ゼミナール報告会で発表する。	演習、実技 実技についての 相互評価	自分の役割を理解し実践できる。	自分の役割を理解し実践できるように予習しておく。	45	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	幼児学ゼミナールⅡ(指導法研究Ⅰ) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education I	岡田 真智子	専門	1	必修	2年後期

科目の概要

テーマ「なんでも保育教材になるよ」と題し、参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。いろいろな教材をもとに保育内容に展開できるように、自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。
また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。単位としてはⅠとⅡに分かれているが、受講するにあたっては、2年次の1年間を通して行うゼミグループでの研究活動である。将来保育者を見据え幼児教育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を習得する。

学修内容	到達目標
①いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ②「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③「岡崎げんき館」にて子どもたちを実践的に関わる。	①各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ②研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。 ③岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組み、その体験をもとに保育実践に連動して考えることができるようになる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。	

テキスト及び参考文献

テキスト:各ゼミナールにて提示される
参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:すべての科目と関連する。
資格との関連:幼稚園教諭二種免許状、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
・学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加や活動が望まれる。	・欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート			
成果発表 (口頭・実技)	80	① ② ③	<ul style="list-style-type: none"> ・研究課題に対して意欲的に取り組み、発信できる。 ・課題に対して、チームで協力し課題解決に尽力することができる。 ・課題に対して、問題意識を持ち、深く考えることができ、その考えをチームに理解してもらうように説明することができる。 ・「研究課題への取り組み」「活動に対しての積極的参加」、「げんき館での活動」に対しての積極性を評価する。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	20	① ② ③	<p>(主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。</p> <p>(実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。</p> <p>(課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。</p> <p>(想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。</p> <p>(発信力) 予習や講義での身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。</p> <p>(傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。</p> <p>(規則性) <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始から15分以内に入室した者は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 ・授業開始から15分を超えて入室した者は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。 </p>
その他			
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及び(可)の基準
課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践など具体化し活用することができる。① 学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。② S(秀①+②) A(優)とする①又は②	各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを表現する。① 各課題に対して自分なりに表現をし課題提供することでチームに貢献する。② B(良)① C(可)②

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション ゼミナール活動の目的と 内容について確認し、後 期の実践活動に対して計 画作成	演習 ゼミ全体で後期の実践 活動に対し話し合い進 める。	ゼミナール活動の目的と 内容について確認し、後 期の実践活動に対して 計画立案に主体的参 加。	(予習)後期に向けての予定 企画に積極的に参加できる ように自分の考えをまとめて おく。 (復習)今後の計画に沿って 見直しを持つ。	45 45	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
2週 /	ボランティア活動① 中園保育園「お誕生日を お祝いする」A企画と岡 崎げんき館活動B企画計 画作成	演習 ゼミ全体で後期の実践 活動に対しグループ討 議	ゼミナール活動の目的と 内容について確認し、後 期の実践活動に対して 計画立案に積極的に参 加。	(予習)自分の考えをまとめ 意欲的に参加できるようにす る。 (復習)自分の役割を自覚し 企画を考える。	45 45	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
3週 /	A企画グループとB企画 グループ計画・立案作成	演習 A・Bグループで計画・ 立案討議	ゼミナール活動の目的と 内容について確認し、後 期の実践活動に対して 計画立案に積極的に参 加。	(予習)企画を考え自分の意 見を持つてくる。 (復習)自分の役割を自覚 し、準備する。	45 45	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
4週 /	A企画グループと岡崎げ んき館活動B企画グルー プのそれぞれが実践計画 の立案作成	演習 A・Bグループで計画・ 立案討議	ゼミナール活動の目的と 内容について確認し、後 期の実践活動に対して 計画立案に積極的に参 加。	(予習)自分の意見をチーム に理解できるようプレゼンを 企画する。 (復習)チームでの立案を再 確認し自分なりの考えを持 つ。	45 45	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
5週 /	A企画グループと岡崎げ んき館活動B企画グルー プのそれぞれが実践計画 の立案作成	演習 A・Bグループで計画・ 立案討議	げんき館の企画立案と準 備を立案に積極的に参 加。	(予習)計画に対しての意見 を持ち発表できるようにする (復習)互いの企画を理解し 自分の役割を自覚し練習を する。	45 45	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
6週 /	ボランティア活動②安城 市西部児童センター「地 域まつり」についてDVD 鑑賞	演習 DVD鑑賞	過去の DVD を参考に し、 こどもとの関わりで積極 的に行うイメージ作りをし て役割を意識する。	(予習)ボランティア活動に対 しての意識を持つ。 (復習)保育実践に役立つ企 画再認識する。	45 45	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性
7週 /	ボランティア活動①中園 保育園A企画グループの 指導の下実践練習	Aグループ指導の下実 践演習	グループ内での役割を 理解し積極的に参加。	(予習)自分の役割を理解し 練習に臨むようにする。 (復習)自分の役割を自覚し 練習を行う。	45 45	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
8週 /	ボランティア活動①中園 保育園の誕生会に参加 「お誕生日をお祝いしよ う」を実践 本日の活動の振り返り	実践演習 グループ討議	ゼミナール活動の目的と 内容について確認し、後 期の実践活動に対し積 極的に参加。	(予習)役割分担を自覚し実 践を行い突然のハプニング に対しても冷静に対応でき るように十分に個人練習をし ておく。 (復習)実践の振り返りを行 い自己評価、実践に活かす	45 45	主体性 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 / 9週	ボランティア活動②安城市西部児童センター「地域まつり」に参加実践 本日の活動の振り返り	安城市西部児童館においてボランティア活動グループ討議	ゼミナール活動の目的と内容について確認し、後期の実践活動に対立案に積極的に参加。	(予習)役割分担を理解、意識し進んで参加できるようにしておく。 (復習)実践の振り返りを行い自己評価、実践に活かす。	45 45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
10週 / 10週	岡崎げんき館活動 親子とのふれあい「作って遊ぼう」のB企画グループの指導の下、実践練習	Bグループの指導の下実践演習の練習	ゼミナール活動の目的と内容について確認し、後期の実践活動に対し立案に積極的に参加。	(予習)自分の役割を理解し練習に臨むようにする。 (復習)自分の役割を自覚し実践の練習を行う。	45 45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
11週 / 11週	岡崎げんき館活動 親子とのふれあい「作って遊ぼう」の実践活動 本日の活動の振り返り	実践演習 グループ討議	ゼミナール活動の目的と内容について確認し、後期の実践活動に対し立案に積極的に参加。	(予習)役割分担を理解、意識し進んで参加できるように十分個人練習をする。 (復習)実践の振り返りを行い自己評価、実践に活かす。	45 45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
12週 / 12週	幼児学ゼミナール研究 報告抄録集 作成開始 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	役割分担を行い自分の役割自覚し	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を立案に積極的に参加。	(予習)抄録作成に向けゼミ活動を振り返り、報告会に向けいろいろ立案する。 (復習)企画に対しての自分なりの意見を持つ。	45 45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
13週 / 13週	幼児学ゼミナール研究 報告抄録を完成、提出 ゼミナール報告会に向けて企画・立案	役割分担を行い自分の役割の検討	抄録作成、ゼミナール報告会への企画立案と準備を積極的に参加	(予習)抄録作成に向けゼミ活動の作成。また、報告会に向け意見提案を考える。 (復習)企画に対しての自分なりの意見を持つ。	45 45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
14週 / 14週	ゼミナール報告会に向けてリハーサル	役割分担従い自分の役割の実践演習	これまでの創作が全て完成され、発表できる	(予習)ゼミ発表会に向け自分の役割を認識する。 (復習)ゼミ発表に向け自分の役割を自覚練習をする。	45 45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力
15週 / 15週	ゼミナール報告会に参加、報告	演習 役割分担従い実践	これまでのゼミ活動の取り組みを全体に向け表現を通して伝えることができる。	(予習)ゼミ報告会本番に向け自分の役割を再認識する。 (復習)ゼミ活動を振り返りを行い自己評価、実践に活かす。	45 45	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規則性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	幼児学ゼミナールⅡ(指導法研究Ⅱ) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	高沢 佳司	専門	1	必修	2年後期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、岡崎げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。

学修内容	到達目標
①げんき館活動による保育・教育実践の計画及び実施 ②ゼミナール報告会プレゼン計画及び実施 ③ゼミナール抄録集の作成 ④ものづくり体験	①各領域のねらい及び内容 一般目標:幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。 到達目標・・・1)幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。2)当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。3)幼稚園教育における評価の考え方を理解している。4)領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。 ②保育内容の指導方法と保育の構想 一般目標:幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。 到達目標・・・1)幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。2)各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。3)指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することが出来る。4)模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。5)各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考慮して期限内に完成できるように進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献	
テキスト:なし ※プリントは適宜配布する。	
他科目との関連、資格との関連	
他科目との関連:幼児学ゼミナール I 資格との関連:幼稚園教諭2種免許、保育士	
学修上の助言	受講生とのルール
Self-Distancing (自己俯瞰方略)の利用により、自己の置かれた状況を客観的に正確に把握できるようにすること。観察力を養い、ひいては強固な状況把握力へとつながるスキルである。なおこの方略については前期の幼児学ゼミナール I で修得済みである。	調べ学習、発表、グループワーク、相互に教え合う等の活動に代表される、アクティブラーニング形式での授業に意欲を持って参加すること。課題プリントが課されるため、必ず提出すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
成果発表 (口頭・実技)	30	① ✓ ② ✓	・幼児学ゼミナール報告会でのプレゼンテーションの出来を評価する。自己の役割(原稿読み、進行、PC 操作、等)を、チーム内で計画した通りに実行できるほど、評価点が高くなる。
社会人 基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓	(主体性) ・調べ学習等の自発的な学習を行うことができる (実行力) ・実験、観察、地域活動等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる (課題発見力) ・地域活動等の際、対象のニーズを把握したり、問題解決の手だてを把握したりすることができる (創造力) ・事例や教科書の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して問題解決方法を考案したり、支援計画を考えたりすることができる (発信力) ・グループ討議やプレゼン準備の結果を他者に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる (傾聴力) ・発言者の意見を自分の立場に置き換えて、意図を汲み取りながら聴くことができる (状況把握力) ・効果的な観察を通して対象や自己の置かれた状況を正確に把握することができる (規律性) ・他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。また、授業中に携帯電話を不必要に操作しない
その他	60	① ✓ ② ✓	以下の 4 活動の出来をそれぞれ 20 点満点で評価する ・幼児学ゼミナール報告会のプレゼン計画・準備作業 ・げんき館での活動 ・その他のグループ活動
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
成果発表・社会人基礎力(学修態度)・その他の3つの評価方法において満遍なく十分な力を発揮できれば A。3つの評価方法においてほぼ、あるいは完璧に力を発揮できれば S。	成果発表・社会人基礎力(学修態度)・その他 3つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できれば B。2つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できれば C。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション	講義 グループ討議	後期のゼミ活動の目標や課題が理解できる。また、げんき館活動、ゼミナール報告会発表の概要について理解できる。特に、報告会へ向けてのスケジュールを確認し理解できる。	復習:プリントを見直す。	180	課題発見力 状況把握力 規律性
2週 /	げんき館活動準備:ねんど遊びの計画を行う	講義 グループ討議 発表	当ゼミのげんき館テーマである「ねんど遊び」に必要な準備を行う。活動の流れを確認し、導入のための手遊び歌を決定し(前期のものとは変える)、練習・発表ができる。また、自己俯瞰方略のおさらいをする。	復習:手遊び歌を身につける。自己俯瞰方略をさらにおさらいする。	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
3週 /	げんき館活動を行う(通算3回目) ※他ゼミとの予定の兼ね合いで、別の週の内容と入れ替える場合がある	地域活動実践	げんき館に実際に行き、未満児や保護者とのねんど遊びを通じた交流を行う。必要な援助、指導を行う。また、自己俯瞰方略を実際に用いて状況を把握することができる。	予習:手遊び歌、自己俯瞰方略について確認する。 復習:活動中の出来事について振り返る(げんき館活動振り返りシート)。	160 20	主体性 実行力 発信力 傾聴力 状況把握力 規律性
4週 /	ゼミナール抄録作成 ①役割分担と作業の確認、計画を行う(進捗率 0%)	講義 グループ討議	ゼミナール報告会発表に先立ち、その原型となる抄録を作成するための、役割分担と作業工程を確認する。また、全5回の活動での進捗率に合わせた活動を自らシミュレーションできる。	復習:プリントを見直す。	180	主体性 課題発見力 状況把握力 規律性
5週 /	ゼミナール抄録作成 ②計画に沿った執筆および PPT 資料作成(進捗率 25%)	グループ討議 PC 作業	序論・司会チーム、心理検査チーム、げんき館チームに分かれ、それぞれの活動を文章や PPT にまとめることができる。その際の進捗率は 25%が望ましい。	予習復習:課題を確認し(予習)、進捗が 25%に満たない場合はそれに達するよう作業を行う(復習)。	180	主体性 課題発見力 状況把握力 規律性
6週 /	ゼミナール抄録作成 ③計画に沿った執筆および PPT 資料作成(進捗率 50%)	グループ討議 PC 作業	引き続き、それぞれの活動を文章や PPT にまとめることができる。その際の進捗率は 50%が望ましい。	予習復習:課題を確認し(予習)、進捗が 50%に満たない場合はそれに達するよう作業を行う(復習)。	180	主体性 課題発見力 状況把握力 規律性
7週 /	ゼミナール抄録作成 ④計画に沿った執筆および PPT 資料作成(進捗率 75%)	グループ討議 PC 作業	引き続き、それぞれの活動を文章や PPT にまとめることができる。その際の進捗率は 75%が望ましい。	予習復習:課題を確認し(予習)、進捗が 75%に満たない場合はそれに達するよう作業を行う(復習)。	180	主体性 課題発見力 状況把握力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
8週 / および	ゼミナール抄録作成 ⑤計画に沿った執筆 および PPT 資料作成 (進捗率 100%)	グループ討議 PC 作業	引き続き、それぞれの活動を文章や PPT にまとめることができる。その際の進捗率は 100%が望ましい。	予習復習:課題を確認し(予習)、進捗が 100%に満たない場合はそれに達するよう作業を行う(復習)。	180	主体性 課題発見力 状況把握力 規律性
9週 / う①	ものづくり体験を行う①	食品調理もしくは雑貨制作	デンパーク(安城市)においてソーセージづくり体験、もしくは雑貨制作体験をし、保育者に必要な手先の器用さを訓練する。	復習:各ものづくりの手順をチラシや現地の資料でおさらいする。	180	主体性 課題発見力 創造力 規律性
10週 / リ	ゼミナール報告会のリハーサルを行う①	発表 PC 作業	発表用読み原稿を作成することができる。原稿チェックを受け、修正することができる。	復習:内容を各自確認する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
11週 / リ	ゼミナール報告会のリハーサルを行う②	発表 PC 作業	発表用読み原稿にしたがい、通し練習ができる。その際、15分間に3チームの発表が収まるように、時間調整ができる。原稿を修正することができる。	復習:内容を各自確認する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
12週 / リ	ゼミナール報告会のリハーサルを行う③	発表 PC 作業	引き続き、発表用読み原稿にしたがい、通し練習ができる。その際、15分間に3チームの発表が収まるように、時間調整ができる。原稿を修正することができる。	復習:内容を各自確認する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
13週 / リ	ゼミナール報告会のリハーサルを行う④	発表 PC 作業	引き続き、発表用読み原稿にしたがい、通し練習ができる。その際、15分間に3チームの発表が収まるように、時間調整ができる。原稿を修正することができる。	復習:内容を各自確認する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
14週 / う②	ものづくり体験を行う②	食品調理もしくは雑貨制作	デンパーク(安城市)においてソーセージづくり体験、もしくは雑貨制作体験をし、保育者に必要な手先の器用さを訓練する。ただし、前回と同じ活動は選択しない。	復習:各ものづくりの手順をチラシや現地の資料でおさらいする。	180	主体性 課題発見力 創造力 規律性
15週 / 表	全体の振り返りとまとめを行う ゼミナール報告会発表当日に向けて最終調整を行う	講義 グループ討議 質疑応答 発表	1年間のゼミ活動を自らまとめ理解できる。また、ゼミナール報告会に向けての調整項目を理解し実際に調整できる。	復習:プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	幼児学ゼミナールⅡ Seminar: Study of Methodology for Infantile Education Ⅱ	児玉 珠美	専門	1	必修	2年後期

科目の概要

幼稚園教育要領及び保育所保育指針等を踏まえ、各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。
 幼児学ゼミナールⅠでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集める。また、岡崎げんき館における模擬保育活動を通して、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。

学修内容	到達目標
①幼稚園教育要領及び保育所保育士指針の内容を理解し、子どもの発達過程に沿った情報機器及び教材の活用方法を研究する。 ②子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究する。 ③岡崎げんき館の模擬保育活動に向けて指導案を作成し、実践を通して子どもが楽しむことができる昔話の表現方法と指導法について学ぶ。 ④グループの一員としての責任ある行動と主体的な姿勢による指導法研究活動を通して、保育者としての協働意識を育む。	①幼稚園教育要領及び保育所保育士指針の内容を理解し、子どもの発達過程に情報機器及び教材の活用方法を研究することができる。 ②子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究することができる。 ③岡崎げんき館の模擬保育活動に向けて指導案を作成し、実践を通して子どもが楽しむことができる昔話の表現方法と指導法について学ぶことができる。 ④グループの一員としての責任ある行動と主体的な姿勢による指導法研究活動を通して、保育者としての協働意識を育むことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	昔話を語る上での表現工夫を、様々な素材を活用して検討していくことができる。
	働きかけ力	ゼミ内のメンバーのみでなく、岡崎げんき館の親子や地域の方々に自分から積極的に話しかけていくことができる。
	実行力	決められた期限までに、課題を完成させることができる。
考え抜く力	課題発見力	自分やグループの不足している力に気づき、克服するための課題を明確にし、具体的な努力をしていくことができる。
	計画力	課題を期限までに終わることができるよう、手順や役割分担を考えて計画していくことができる。
	創造力	昔話の世界を広げていくために、自分の得意な表現を活かした創意工夫をすることができる。
チームで働く力	発信力	グループワークや発表時において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。
	傾聴力	他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	今置かれている状況や何をすべきかということを理解し、その場に合った言動や作業ができる。
	規律性	集団学修という視点を常に持ち、自らの言動の他者への影響を考慮し、他者の学修の権利を遵守することができる。
	ストレスコントロール力	グループワークにおいて、対立する意見等があった場合にも、感情をコントロールする方法を見出し、冷静に対応する努力ができる。

テキスト及び参考文献

幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領・保育所保育指針

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:すべての開講科目

資格との関連:幼稚園教諭二種免許、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
幼児学ゼミナールは、保育者養成のすべての学びを総合的かつ実践的に活かしていく授業である。主体的、対話的な姿勢で臨むこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・無遅刻・無欠席を厳守すること。 ・結果のみではなく、過程の意欲と努力を評価する。 ・ゼミ全体が前向きな雰囲気になる言動を心がけること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート		①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 岡崎げんき館での模擬保育までの経過を写真等を含め、記録していくこと。 模擬保育実践後、取り組みについてレポートとしてまとめ、幼児学ゼミナール研究報告に向けてまとめること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 指導案作成や発表に向けて、積極的にグループワークに参加すること。 岡崎げんき館での模擬保育活動に向けて、各グループや個人の自主的な練習に取り組むこと。 模擬保育の成果と共に、実践までの取り組みの姿勢を重視した評価をする。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 昔話を語る上での表現工夫を、様々道具を活用して検討していくことができる。 (実行力) 決められた期限までに、課題を完成させることができる。 (課題発見力) 自分やグループの不足している力に気付き、克服するための課題を明確にし、具体的な努力をしていくことができる。 (創造力) 昔話の世界を広げていくために、自分の得意な表現を活かした創意工夫をすることができる。 (発信力) グループワークやゼミ全体の討議において、自分の意見を他者が理解しやすいように発言することができる。 (傾聴力) 他者の発言に対する敬意を持ち、教員の話や他の学生の発言に集中することができる。 (規則性) 集団学修という視点を常に持ち、自らの言動の他者への影響を考慮し、他者の学修の権利を遵守することができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他	20			
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
①幼稚園教育要領及び保育所保育士指針の内容を完璧に理解し、子どもの発達過程に沿った教材の活用方法を主体的に研究することができる。 ②子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を積極的に研究することができる。 ③岡崎げんき館の模擬保育活動に向けて熟慮した指導案を作成し、実践を通して子どもが楽しむことができる昔話の表現方法と指導法について深く学ぶことができる。 ④グループの一員としての責任ある行動と主体的な姿勢による指導法研究活動を通して、保育者としての協働意識を育むことができる。	①幼稚園教育要領及び保育所保育士指針の内容を理解し、子どもの発達過程に沿った情報機器及び教材の活用方法を研究することができる。 ②子どもが興味関心を持ち、主体的、対話的な活動ができるような指導法を研究することができる。 ③岡崎げんき館の模擬保育活動に向けて指導案を作成し、実践を通して子どもが楽しむことができる昔話の表現方法と指導法について学ぶことができる。 ④グループの一員としての責任ある指導法研究活動を通して、保育者としての協働意識を育むことができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	幼稚園教育要領に沿って前期岡崎げんき館模擬保育活動を振り返り、各グループ発表する。後期発表内容について討議する。	演習	前期の発表から、今後の課題を発見することができる。後期発表内容を発展的に検討することができる。	(予習)後期の発表内容を考える。	90	主体性 発信力 計画力
2週 /	岡崎げんき館第2回目模擬保育内容を決定する。前期の昔話の発表での課題を基に、作品を選び、全体構成や演出的な工夫について討議する。	演習	子どもたちがより楽しめる演出や表現の工夫について、様々な視点から考え、発言することができる。	(予習)自分の得意な表現方法をどのように活かすことができるか考える。	90	主体性 傾聴力 発信力
3週 /	岡崎げんき館模擬保育に向けての準備① 指導案を作成し、役割等を決定する。語り以外の表現の工夫に必要な素材を用意する。活用の方法について検討する。	演習	全体討議において、他者の意見を傾聴し、責任をもって話し合いに参加することができる。	(予習)表現に必要な素材を準備する。 (復習)後期発表に向けての役割分担一覧を作成する。	90	実行力 働きかけ力 創造力
4週 /	岡崎げんき館模擬保育に向けての準備② 指導案を基に、製作等、各役割に沿って、作業に取りかかる。	演習	自分の役割と作業内容を理解し、主体的に取り組むことができる。	(予習)作業の必要なものを準備し、作業計画を立てる。	90	主体性 働きかけ力 計画力 実行力
5週 /	岡崎げんき館模擬保育の準備③ 作業及び場面ごとの練習をする。子どもたちの発達過程を考慮し、	演習	発表に向けての作業に責任を持って取り組むことができる。	(予習)子どもたちの参加場面の工夫について考える。 (復習)課題を発見し、解決方法を検討する。	90	創造力 働きかけ力 実行力 課題発見力
6週 /	岡崎げんき館模擬保育の準備④ 発表の通し練習と意見交換を通じて、発表内容をさらに検討する。	演習	発表の通し練習に責任を持って取り組むことができる。他者からの意見に謙虚に対応することができる。	(予習)自分の担当について十分に練習する。 (復習)課題を発見し、解決方法を検討する。	90	主体性 傾聴力 課題発見力
7週 /	岡崎げんき館模擬保育見学 他のゼミナールの発表を見学を通して、子どもたちの様子や表現について学ぶ。	演習	他のゼミナールの発表を見学を通して、子どもたちの様子や表現について学ぶことができる。	(復習)子どもたちへの語りかけ方や反応への対応方法等を振り返り、発表に活かす方法を考える。	90	傾聴力 状況把握力 規律性 課題発見力
8週 /	岡崎げんき館模擬保育に向けての準備⑤ 指導案に沿って模擬保育の練習をする。終了後の意見交換を通じて、指導案をさらに検討する。	演習	げんき館での他ゼミナールの発表見学を通しての学びを活かして、発表内容をさらに検討することができる。	(復習)通し練習でできなかった点について、具体的に対策方法を考える。	90	主体性 状況把握力 発信力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	岡崎げんき館模擬保育のリハーサルをする。終了後に、振り返りを通して、指導案の修正をする。模擬保育本番までの課題を確認し合う。	演習	リハーサルに責任を持って参加できる。また、自分のことだけでなく、他のメンバーを助けていく姿勢を持つことができる。	(復習)リハーサルでできなかった点について、具体的に対策方法を考える。	90	主体性 状況把握力 発信力 課題発見力
10週 /	岡崎げんき館模擬保育第2回目を実施する。	演習	指導案を基本としながら、子どもとの主体的対話的な活動を導く対応ができる。	(復習)発表を振り返り、レポートとしてまとめる。	90	主体性 状況把握力 発信力 柔軟性
11週 /	岡崎げんき館模擬保育の振り返りをレポートとしてまとめ、発表する。さらに幼児学ゼミナール抄録集を作成に向けて、第1回目の発表を含め、掲載内容を決定する。レポート内容と写真資料等、データ整理をする。	演習	岡崎げんき館活動の振り返りをし、レポートとしてまとめ、発表することができる。	(復習)幼児学ゼミナール抄録集を作成に向けて、掲載内容を確認し、自主作業を進める。	90	実行力 計画力 課題発見力
12週 /	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。模擬保育の振り返りを通して、保育の向上に向けての課題を考える。	演習	幼児学ゼミナール抄録集を作成作業に責任を持って参加することができる。	(復習)幼児学ゼミナール抄録集を作成に向けて、	90	実行力 計画力 課題発見力
13週 /	幼児学ゼミナール抄録集を完成する。幼児学ゼミナール報告会での役割分担を検討し、決定する。幼児学ゼミナール報告会の担当ごとに練習する。	演習	幼児学ゼミナール報告会での役割を理解し、幼児学ゼミナール報告会成功に向けて自覚を持って練習することができる。	(予習)ゼミナール抄録集の改善点について、作業を進めておく。	90	実行力 計画力 課題発見力
14週 /	幼児学ゼミナール報告会のリハーサルをする。リハーサル後、指摘された意見を確認しながら場面ごとに確認し、練習する。	演習	幼児学ゼミナール報告会のリハーサルに責任を持って参加することができる。指摘された意見に謙虚に向き合い、解決に向けての努力をすることができる。	(予習)報告に必要なものを準備する。進行と役割を確認する。	90	主体性 発信力 傾聴力 柔軟性
15週 /	幼児学ゼミナール報告会で口頭発表等を行う。各領域の特性を活かした模擬保育の発表を通して、今後の保育構想の向上に向けての学びとする。	演習	他のゼミナール発表を敬意を持って聴くことができる。自覚と自信を持って自分たちの発表に参加することができる。多様な模擬保育の発表を通して、今後の保育構想の向上に向けての学びとすることができる。	(予習)ゼミナール抄録を事前に読んでおく。自分たちの発表の進行等の最終確認をする。	90	主体性 発信力 状況把握力 規律性

能力名: 主体性 働かけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	指導法研究Ⅱ(幼児学ゼミナールⅡ) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education I	石川 博章	専門	1	必修	2年後期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。

幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、岡崎げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。

学修内容	到達目標
①子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができるようにする。 ②造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 ③活動報告を文章化し、報告することができるようにする。	①子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。 ②造形素材のレパートリーを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる。 ③活動報告を文章化し、報告することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるように進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

特になし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:造形Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、表現、
資格との関連:幼稚園教諭、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20分を超えた遅刻は、欠席扱いとする ・すべての提出物を出さないと及第しない。 ・欠席はマイナスに評価する。 ・提出期限に遅れた場合はマイナスに評価する。 ・授業態度が悪い場合はマイナスに評価することがある。 ・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート			
成果発表 (口頭・実技)	20	① ② ③ ✓	活動報告を小論にする。 パワーポイントで資料を作成する。
作品	45	① ✓ ② ✓ ③	ものづくり計画をしっかりと立案できたか。 段取りがしっかりとできたか 制作を完遂できたか。
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓	主体性を持って取り組めたか 計画的に取り組むことができたか
その他	25	① ✓ ② ✓ ③	ものづくり計画を立案し、子どもへの指導へ敷衍しながら、取り組むことができたか。 教材研究にしっかりと取り組めたか。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
グループ内で協力しながら、子どもの育ちを理解し、適した造形あそびを計画立案し、指導案を完成させ、実施することができるようにする。 子どものことを考えながら、造形素材について会得し、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができるようにする。 小論をまとめることができる	子どもの育ちを理解しながら、適した造形あそびを計画立案し、実施することができる。 造形素材のレポートを増やすために、学外でのものづくりを計画し、段取りをつけ、行うことができる小論を書くことができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション	講義				
2週 ～ 4週 /	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、教材研究、役割分担、子どもへの指導方法の検討、道具・材料の準備、全員への周知等。)	演習	計画立案ができる	グループ活動の内容を考え、検討する。		主体性 計画力
5週 /	造形あそびの実践① (岡崎げんき館活動)	学外活動	指導ができる 親と関われる	活動の準備、および反省・まとめをする		主体性
6、 7週	グループ活動 (取り組みテーマの決定、内容の検討、立案、指導案・計画案の作成、役割分担、子どもと一緒にいる場合の指導法の検討、その素材について予習、全員への周知等)	演習	計画立案ができる	グループ活動の内容を考え、検討する。		主体性 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
8週 ～ 10週	ものづくり活動の実践① (学外いろいろなものづくり。土曜日または日曜日に、ほぼ一日かけて、ものづくり活動を行う。具体例として、やきもの、染め物、レーザークラフト、シルバーアクセサリー作りなど、3 時間分の授業とする。通常の授業は休講とする。)	学外活動	作品制作ができる	活動の準備、および反省・まとめをする		主体性 計画力
11週 /	ゼミ抄録集の原稿作成	演習	文章が書ける	原稿の作成を行う		主体性
12週 /	ゼミ抄録集の原稿作成	演習	文章が書ける	原稿の作成を行う		主体性
13週 /	ゼミ抄録集の原稿作成 ゼミ報告会の原稿作成	演習	文章が書ける	原稿の作成を行う		主体性
14週 /	ゼミ報告会の原稿作成 リハーサルの実施	演習	文章が書ける	原稿の作成を行う		主体性
15週 /	ゼミ報告会の原稿作成 リハーサルの実施 まとめ	演習	文章が書ける	原稿の作成を行う		主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	幼児学ゼミナールⅡ(指導法研究Ⅱ) Seminar: Study of Methodology for Infantile Education II	谷村 和秀	専門	1	必修	2年後期

科目の概要

- ①岡崎げんき館の活動では、親子に楽しんでもらえる遊びを考え、実施し、子どもや保護者との関わり方を学ぶ。
 ②放課後等デイサービスの活動では、利用している障がいのある子どもを理解した上で、楽しんでもらえる遊びを考え、実施する。
 ③幼児学ゼミナール抄録集の制作や幼児学ゼミナール報告会での報告を通して、保育者の役割を深めていく。

学修内容	到達目標
①乳幼児とその保護者が楽しめる遊びの展開方法を深める ②障がいのある子どもを理解したい上で、楽しめる遊びを計画し、実施し、評価する。 ③幼児学ゼミナール抄録集を作成や幼児学ゼミナール報告会での口頭発表を行う。	①幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解できる。 ②障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解できる ③保育者の役割を考え、深めることができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。	

テキスト及び参考文献

テキスト:特になし
 参考文献:保育所保育指針・幼稚園教育要領

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:すべての開講科目
 資格との関連:保育士・幼稚園教諭二種免許

学修上の助言	受講生とのルール
幼児学ゼミナールは学生が主体的に活動を行う科目です。だから、与えられた課題は決められた日に提示できるようにすること。	① 無断欠席や遅刻をしない学生 ② 積極的にゼミ活動に参加できる学生 ③ 自己選択・自己責任ができる学生

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート		①	① 岡崎げんき館の活動を通して、学んだこと考えたことをまとめる ② 放課後等デイサービス「HOPE」の活動を通して、学んだこと・考えてことをまとめる。
		②	
		③	
成果発表 (口頭・実技)		①	1年間の幼児学ゼミナールで活動してきたことをまとめる
		②	
		③	
作品			
社会人基礎力 (学修態度)		①	(主体性) 課題を取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) ゼミメンバー及び利用者(親子・障がいのある子ども)に伝わるように表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) ・授業開始から15分以内に入室した者は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 ・授業開始から15分を超えて入室した者は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
		②	
		③	
その他		①	・ゼミメンバー間で話し合う機会が多いため、意見をもって発言することも大切ですが、相手の話を聞きことも大切である
		②	
		③	
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解した上で展開できる。 ② 障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解した上で展開できる ③ 保育者の役割を考え、深めることができる ④ 総合評価が90点以上はS(秀)、89～80点はA(優)とする。	① 幼児とその保護者に対して、遊びのプロセスが理解できる。 ② 障がいのある子どもに対して、遊びのプロセスが理解できる ③ 保育者の役割を考えることができる ④ 総合評価が79～70点はB(良)、69～60点はC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	岡崎げんき館活動の準備 ①岡崎げんき館活動に参加する子どもとその保護者の対象を学ぶ ②乳幼児の遊びについて調べる	演習	①岡崎げんき館活動に参加する親子について理解できる ②乳幼児の遊びが理解できる。	(予習) 岡崎げんき館活動について、抄録集を読むこと (復習) 乳幼児の遊びを調べる。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
2週 /	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、決める。 ②決めた遊びの指導案を考える	演習	①ゼミメンバー間で意見交換ができる。 ②親子を対象とした遊びの指導が考えることができる。	(予習) 前回の演習で調べた遊びを確認する (復習) 演習で作成した指導案を確認する	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
3週 /	岡崎げんき館活動の準備 ①前回の演習で作成した指導案に基づいて、制作やリハーサルを行う。	演習	①岡崎げんき館活動で行う内容が理解できる	(予習) 前回の演習で作成した指導案に基づいて、準備物を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動で行うことを確認する。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
4週 /	岡崎げんき館活動 ①子どもやその親に対して、考えた遊びを展開する	演習 (岡崎げんき館)	①親子に対して考えた遊びが展開できる	(予習) 立案した岡崎げんき館活動の指導案を確認する。 (復習) 岡崎げんき館活動について、評価を行う。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 柔軟性 想像力
5週 /	岡崎げんき館活動を振り返る(レポート作成)	演習	①親子に対して考えた遊びを評価することができる	(予習) 岡崎げんき館活動の振り返りを行う (復習) 親子に対しての遊びを確認する。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
6週 /	HOPE でのゼミ活動の準備 ①放課後等デイサービスを利用している子どもに対しての遊びを調べる	演習	①障がいのある子ども(知的障がい、発達障がい)の特性が理解できる。 ②障がいのある子どもに対しての遊びが展開できる。	(予習) 障がいのある子どもの特性を調べる。 (復習) 障がいのある子どもに対しての遊びを調べる	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
7週 /	HOPE でのゼミ活動の準備 ①前回の演習で調べた遊びを挙げ、企画立案を行う。	演習	障がいのある子どもに対しての遊びの準備ができる。	(予習) 前回の演習で調べたものを確認する (復習) 演習で準備したものの確認を行う。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
8週 /	HOPE でのゼミ活動 ①立案した遊びを障がいのある子どもに展開を行う	演習	障がいのある子ども に対しての遊びの展 開方法が理解できる	(予習) ①放課後等デイサービスの 役割を確認する。 ②立案した遊びを確認する	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 柔軟性 想像力
9週 /	HOPE でのゼミ活動 ①職員が考えたプログラム に参加する。	演習	障がいのある子ども に関わる視点が理 解できる。	(復習) ①HOPE での活動を振り返 る。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 柔軟性 想像力
10週 /	HOPE でのゼミ活動の振り 返りを行う(レポート作成)	演習	障がいのある子ども に対しての遊びのプ ロセスが理解できる	(予習) ①HOPE での活動を振り返 る。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
11週 /	幼児学ゼミナール抄録集を 作成する。	演習	抄録集の作業工程 が理解できる。	(復習) それぞれの活動の振り返り を用意しておくこと。 (復習) 幼児学ゼミナール抄録集を 作成する	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
12週 /	①幼児学ゼミナール抄録集 を見直す。 ②幼児学ゼミナール報告会 について説明を行う。	演習	①抄録集の担当箇所 が誰にも読みやすい ものになっている。 ②幼児学ゼミナール 報告会に向けての 作業工程がわかる。	(予習) 幼児学ゼミナール抄録集を 作成する (復習) 幼児学ゼミナール抄録集を 作成する	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
13週 /	①幼児学ゼミナール抄録集 を完成する ②幼児学ゼミナール報告会 の準備を行う	演習	①幼児学ゼミナール 抄録集を完成できる ②幼児学ゼミナール 報告会で与えられた 役割を理解する	(予習) 幼児学ゼミナール抄録集を 確認する (復習) 幼児学ゼミナール報告会 の役割を確認する	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
14週 /	幼児学ゼミナール報告会の 準備を行う	演習	①幼児学ゼミナール 報告会で口頭発表 ができる状況になる	(予習) 幼児学ゼミナール報告会 の (復習) 幼児学ゼミナール報告会 で読む、原稿を確認する。	180	主体性 状況把握力 発信力 傾聴力 規則性 想像力
15週 /	幼児学ゼミナール報告会で 口頭発表等を行う。	演習	1年間、ゼミナールで 行なったことを伝える ことができる。	(予習) 幼児学ゼミナール報告会 で読む、原稿を確認する。	180	主体性 発信力 傾聴力 規則性 想像力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	幼児学ゼミナールⅡ(指導法研究Ⅱ) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education I	津島 忍	専門	1	必修	2年後期
科目の概要						
<p>各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。</p> <p>幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、岡崎げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>①ピアノ連弾の学修では、連弾を核とした音楽劇の実演に組み、より高度な技能、表現力を学び、企画、準備、運営の方法を体験する。</p> <p>②岡崎げんき館では「楽器で遊ぼう」をテーマに楽器を使い親子で楽しむ音楽遊びの実践を行う。</p>			<p>①連弾を核とした音楽劇の実演に組み、より高度な技能、表現力を身に付け、企画、準備、運営などの保育現場での行事運営の基礎を習得できる。</p> <p>②岡崎げんき館での楽器遊びの実践を通して、保育現場で実践できる基本的知識や技能を習得できる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。				
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるように進めることができる。				
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことなどいろいろな方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。				
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。				
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果が得られるよう取り組むことができる。				
	規律性	<ul style="list-style-type: none"> 自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 				
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。				
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:必要に応じて連弾曲の楽譜を購入したり、資料を配布したりすることがある。</p> <p>参考文献:ピアノ絵本館シリーズ①～⑫ 全音楽譜出版社刊、「わくわく音遊びでかんたん発表会」細田淳子 著 鈴木出版 1,800円 その他に必要なに応じて資料を配布することがある。</p>						

他科目との関連、資格との関連	
他科目との関連: 幼児表現(音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)、保育内容(表現) 資格との関連: 幼稚園教諭二種免許状、保育士	
学修上の助言	受講生とのルール
連弾の練習の前に個人での予習(練習)が必要です。また連弾の練習においても、時間外での予習・復習(練習)が必ず必要です。積極的な意見の交換が必要です。	2人一組での練習が欠かせないので、最低限守るべきルール・マナー・約束を理解し、相手に迷惑をかけない。げんき館での活動は集団でのチームワークを意識する。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	5	① ✓ ②	・欠席した学生は、学習している曲を練習し、次週の授業時に教員の前で発表する。発表できない場合は1回につき1点減点とする。
成果発表 (口頭・実技)	85	① ✓ ② ✓	・15週目の授業において、ゼミ内で発表し、ゼミ報告会において学外へ発表する。表現力、技術力、準備段階の活動状況を評価する。 ・岡崎げんき館での活動内容の準備及び本番での活動状況を【到達目標の基準】に基づいて評価する。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓	(主体性)(実行力)(課題発見力) ・苦手な部分の克服や技術の習得のために自ら練習をすることができる。 (創造力)(発信力) ・発表・演奏において、学んだことを更に工夫し発表することができる。 (規律性)(傾聴力) ・相手に迷惑をかけない。グループ活動へ積極的に関わる。楽譜を忘れたら、1回につき1点を減点する。 ・遅刻は授業開始 20分まで。超えたら欠席とみなす。学習意欲欠如(練習不足、受講態度など)が見られる場合は減点する。
その他			
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽劇の核となる連弾曲を A(優)は情感豊かに表現し、演奏技術の上達、獲得が顕著で、安定した演奏ができる。また、準備段階において積極的に活動できる。S(秀)は演奏技術、表現に特に優れ 常に安定した演奏ができる。また、準備段階において積極的にリーダーシップをとり自分の役割をはたして活動できる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢が特に顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽劇の核となる連弾曲を B(良)は間違えることなく最後まで演奏し、演奏技術の上達、獲得がみられ、準備段階で協力的である。C(可)は演奏する曲を二人で最後まで演奏することができる。 ・授業態度に問題がなく、自ら進んで学ぼうとする姿勢がある。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 授業の進め方(連弾を核とした音楽劇の発表方法について) 音楽劇の連弾曲の選曲と企画内容の検討	講義・演習	連弾曲の選曲、企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。	(予習)アイデアを出す (復習)企画会議での問題点の検討	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
2週 /	音楽劇の連弾曲の選曲と企画内容の検討 連弾曲の個人練習と指導	演習 (企画会議、個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲の選曲、企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。 曲を個人練習し、指導を理解し実行できる。	(予習)企画会議での意見出しの準備 (復習)企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
3週 /	音楽劇の連弾曲の選曲と企画内容の検討 連弾曲の個人練習と指導	演習 (企画会議、個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲の選曲、企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。 曲を個人練習し、指導を理解し実行できる。	(予習)企画会議での意見出しの準備 (復習)企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
4週 /	音楽劇の連弾曲の選曲と企画内容の検討 連弾曲の個人練習と指導	演習 (企画会議、個人練習および個人指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲の選曲、企画会議に参加し、指導を理解し実行できる。 曲を個人練習し、指導を理解し実行できる。	(予習)企画会議での意見出しの準備 (復習)企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
5週 /	音楽劇の連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習)企画会議での意見出しの準備 (復習)企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
6週 /	音楽劇の連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習)企画会議での意見出しの準備 (復習)企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
7週 /	音楽劇の連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習)企画会議での意見出しの準備 (復習)企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力
8週 /	音楽劇の連弾曲の練習と企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と指導	演習 (企画会議、制作、ペアでの練習およびペアでの指導) フィードバックはレッスン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企画会議、制作に参加し、指導を理解し実行できる。曲指導を理解し実行できる。	(予習)企画会議での意見出しの準備 (復習)企画会議の意見のまとめと検討、演奏曲の個人練習	45	実行力 主体性 課題発見力 創造力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	音楽劇の連弾曲の練習と 企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と 指導	演習 (企画会議、制作、ペア での練習およびペアで の指導) フィードバックはレッス ン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企 画会議、制作に参加し、指 導を理解し実行できる。曲 指導を理解し実行できる。	(予習)企画会議での意 見出しの準備 (復習)企画会議の意見 のまとめと検討、演奏曲 の個人練習	45	実行力 主体性 課題発 見力 創造力 状況把 握力
10週 /	岡崎げんき館での「楽器で 遊ぼう」の活動に向けての 内容・企画の検討と指導案 の作成 連弾曲のペアでの練習と 指導	演習 (ペアでの練習および ペアでの指導、全員参 加の企画会議) フィードバックはレッス ン内で行う。	企画会議に積極的に参加 し、協力して計画を立案検 討できる。 連弾曲を個人及びペアで 練習し、相手と合わせて最 後まで演奏し、指導を理解 し実行できる。	(予習)岡崎げんき館の 企画会議での意見出し の準備 (復習)岡崎げんき館の 企画内容の整理	45	実行力 主体性 課題発 見力 創造力 状況把 握力
11週 /	岡崎げんき館での「楽器で 遊ぼう」の活動に向けての 内容・企画の検討と指導案 に基づいた模擬実習の実 施と改善	演習 (全員参加の企画会議 および模擬実習の実施 と改善方法の検討) フィードバックはレッス ン内で行う。	企画案に基づき、模擬実 習を実施し、改善案を提案 できる。	(予習)岡崎げんき館の 企画会議での意見出し の準備 (復習)岡崎げんき館の 企画内容の整理	45	実行力 主体性 課題発 見力 創造力 状況把 握力
12週 /	岡崎げんき館での「楽器で 遊ぼう」の活動	演習 (全員参加の岡崎げん き館での実践発表)	準備した内容を実施でき る。	(予習)岡崎げんき館の 企画内容の確認 (復習)岡崎げんき館の 企画内容の反省点の洗 い出し	45	実行力 主体性 課題発 見力 創造力 状況把 握力
13週 /	岡崎げんき館での「楽器で 遊ぼう」の活動の振り返り 音楽劇の連弾曲の練習と 企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と 指導	演習 (反省会、企画会議、 制作、ペアでの練習お よびペアでの指導) フィードバックはレッス ン内で行う。	反省会に参加し、連弾曲 をペアで練習し、企画会 議、制作に参加し、指導を 理解し実行できる。曲指 導を理解し実行できる。	(予習)岡崎げんき館の 企画内容の問題点の洗 い出し (復習)企画会議の意見 のまとめと検討、演奏曲 の個人練習	45	実行力 主体性 課題発 見力 創造力 状況把 握力
14週 /	音楽劇の連弾曲の練習と 企画内容の検討、制作 連弾曲のペアでの練習と 指導 音楽劇の本番形式での通 し稽古の準備	演習 (企画会議、制作、ペア での練習およびペアで の指導) フィードバックはレッス ン内で行う。	連弾曲をペアで練習し、企 画会議、制作に参加し、指 導を理解し実行できる。曲 指導を理解し実行できる。 次週の通し稽古に向けて 準備する。	(予習)連弾曲の個人お よびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指 導を受けた問題点の克 服のための練習	45	実行力 主体性 課題発 見力 創造力 状況把 握力
15週 /	音楽劇の本番形式での通 し稽古	演習(通し稽古) フィードバックはレッス ン内で行う。	音楽劇を本番形式で実演 し、最後まで演奏する。	(予習)連弾曲の個人お よびペアでの練習 (復習)ペアでの練習と指 導を受けた問題点の克 服のための練習	45	実行力 主体性 課題発 見力 創造力 状況把 握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	幼児学ゼミナールⅡ(指導法研究Ⅱ) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education I	本多 峰和	専門	1	必修	2 年後期

科目の概要

前期で研究した子どもの歌の歌詞の意味、日本の風景、曲にまつわる歴史を知り、曲を深く理解した上での実践を行う。それらの実践を通し、歌う、動く、創作をすることで、どのような音楽的要素が子どもに身に付くのかを考える。げんき館では、親子で楽しく歌ったり、踊ったりすることを活動目標とする。「子どもの歌」の研究結果および「げんき館」での活動報告を幼児学ゼミナール報告会で発表する。1年の成果を「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」にまとめる。

学修内容	到達目標
① 歌詞の意味、日本の風景、曲にまつわる歴史をまとめる。	① 歌詞の意味、日本の風景、曲にまつわる歴史をまとめることができる。
② 実践を通し、どのような音楽的要素が子どもに身につくのかを考える。	② 実践を通し、どのような音楽的要素が子どもに身につくのかを考えることができる。
③ げんき館に向けて指導案を考える。	③ げんき館に向けて指導案を考えることができる。
④ 幼児学ゼミナール報告会に向けての発表内容を考える。	④ 幼児学ゼミナール報告会においてわかりやすく発表することができる。
⑤ 幼児学ゼミナール研究報告抄録集の作成。	⑤ 幼児学ゼミナール研究報告抄録集を期日までにまとめて作成することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学習をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	実践を行うための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるように進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

参考文献:「子どものあそびとうた」小泉文夫著、「童謡はどこへ消えた」服部公一著、「唱歌・童謡ものがたり」読売新聞文化部、「東京童謡散歩」藤田圭雄著、「童謡・唱歌の世界」金田一春彦著、「名作童謡ふしぎ物語」上田信道、「童謡心に残る歌とその時代」海沼実著、「唱歌・童謡 100 の真実」竹内貴久雄著、「童謡の風景 1・2・3」合田道人文 村上保絵、「わらべうたが子どもを救う」大島清・大熊進子・岩井正浩著、「わらべうた」町田喜章・浅野健二編、「幼児の音楽と表現」下田和男・西村政一編著、「保育内容 音楽表現」大畑祥子編著、「幼児の音楽教育」音楽教育研究協会編

他科目との関連、資格との関連	
他科目との関連: 幼児音楽表現 I・II・III 資格との関連: 幼稚園教諭二種、保育士	
学修上の助言	受講生とのルール
積極的な参加および活動。	欠席をしない。学生相互の協力関係。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	25	① ② ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	げんき館での活動についての振り返りおよび反省レポートを提出し、評価する。1000～1200字 後日提出したものは80%の評価とする。
成果発表 (口頭・実技)	25	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	「げんき館へ向けての活動」: 準備段階での積極的な意見や発言、協調性。そして「幼児学ゼミナール報告会」「幼児学ゼミナール研究報告抄録集」に対する意欲的な取り組みを評価する。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	50	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性) 課題に取り組むにあたり、必要な知識や文献を用いて自己学習することができたか。 (実行力) 一度決めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (創造力) 物事を考える時に、固定観念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義で身に付けた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) 授業開始から15分以内に入室した場合は遅刻(減点0.5点)扱いとする。 ・授業開始から15分を超えて入室した場合は欠席扱い(減点1点)とする。 ※但し、公共交通機関の遅延による遅刻については遅刻及び欠席扱いしない。(遅延証明書を提出すること) ・許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
その他			
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができており、研究課題に対して深く理解をしている。 A(優)の基準 協調性を持ち、積極的で真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。	B(良)の基準 協調性を持ち、真面目な取り組みができており、研究課題に対して理解をしている。 C(可)の基準 協調性を持ち、研究課題に対して理解をしている。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	「げんき館」での反省・振り返り	グループ討議 フィードバック (グループ討議内容を評価する)	ゼミ生全員の「げんき館」での反省・振り返りをもとに、各自レポートを書く。自分ひとりではなく、全員の反省・振り返りを知ること、さらに「げんき館」での活動の在り方を考えることができる。	(復習) レポートに記述したことをもう一度熟読する。	45	主体性 規律性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
2週 /	乳児理解から子どものうたの指導や在り方を考える。	DVD鑑賞	DVD「小さな命の詩」を鑑賞し、乳児を理解した上で子どものうたの指導や在り方を考える。人間の生命の始まりを知り、乳児の理解を深めることができ、子どもにとってのうたの意味を考えることができる。	(復習) DVD鑑賞で印象に残ったことをノートに書き留める。	45	主体性 規律性 創造力 課題発見力
3週 /	「わらべうた」の実践	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	「わらべうた」を実際に行う。「わらべうた」を実際に行うことで、歌いやすさや動き、言葉とメロディの関係を考えることができる。	(予習) 「わらべうた」をおさらいしておく。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 柔軟性
4週 /	「唱歌・童謡」を歌う	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	今ではあまり使われなくなった日本語の意味を調べ、歌を通して日本の風景や近代化について考える。日本語の意味や風景、近代化について考えることで、唱歌・童謡の理解を深めることができる。	(予習) 「唱歌・童謡」をおさらいしておく。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 柔軟性
5週 /	あそびうたの実践	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	あそびうたの実践を通し、発達の理解を深める。	(予習) 「あそびうた」をおさらいしておく。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 柔軟性
6週 /	実践を通して考えたことからどのような音楽的要素が子どもに身に付くのかを考える。	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	実践を通して考えたことからどのような音楽的要素が子どもに身に付くのかを考え、指導をする上で要点が分かる。	(予習) 子どもに身に付けてほしい音楽的要素を考える。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 柔軟性
7週 /	「げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	子どもが身につく音楽的要素を考え、活動内容を討議できる。	(復習) 手あそびうた、わらべうたのおさらい。	45	主体性 規律性 働きかけ力
8週 /	「げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	子どもが身につく音楽的要素を考え、活動内容を討議できる。	(復習) オリジナル手あそびうたのおさらい。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力 傾聴力 柔軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	「げんき館」に向けての活動内容を考える。	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	子どもが身につく音楽的要素を考え、活動内容を討議できる。	(復習) 童謡で行ったオリジナル体あそびうたのおさらい。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力 傾聴力 柔軟性
10週 /	「げんき館」での活動および振り返り	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する)	子どもが身につく音楽的要素を踏まえた活動ができる。行った活動に対する振り返りから各自が様々なことを学ぶ。	(復習) げんき館での活動の反省と振り返りをする。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力 状況把握力
11週 /	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動「幼児学ゼミナール 研究報告抄録集」の作成	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する) PC 作業	「わらべうた」をパワーポイントにまとめる。研究抄録集の編集作業。	(予習) 抄録集の写真をまとめる。 (復習) パワーポイントの見直し。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力
12週 /	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動「幼児学ゼミナール 研究報告抄録集」の作成	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する) PC 作業	「唱歌・童謡」をパワーポイントにまとめる。研究抄録集の編集作業。	(復習) パワーポイントの見直し。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力
13週 /	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動「幼児学ゼミナール 研究報告抄録集」の作成	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する) PC 作業	「あそびうた」をパワーポイントにまとめる。研究抄録集の編集作業。	(復習) パワーポイントの見直し。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 創造力
14週 /	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動「幼児学ゼミナール 研究報告抄録集」の作成	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する) PC 作業	「わらべうた」「あそびうた」の実践。「唱歌・童謡」のピアノ連弾の練習など舞台発表に向けての活動。研究抄録集の編集作業。	(復習) わらべうた、あそびうた、ピアノ連弾のおさらい。	60	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 柔軟性 傾聴力 課題発見力 創造力
15週 /	「幼児学ゼミナール報告会」に向けての活動「幼児学ゼミナール 研究報告抄録集」の作成	演習 グループ討議 フィードバック (演習・グループ討議内容を評価する) PC 作業	「わらべうた」「あそびうた」の実践。「唱歌・童謡」のピアノ連弾の練習など舞台発表に向けての活動のまとめ。研究抄録集の編集作業を終了する。	(復習) ゼミナール報告会に向けての最終確認。抄録集の最終確認。	45	主体性 規律性 働きかけ力 発信力 柔軟性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52317	幼児学ゼミナールⅡ(指導法研究Ⅱ) Seminar:Study of Methodology for Infantile Education II	服部 壮一郎	専門	1	必修	2年後期

科目の概要

各担当教員がテーマや参加人数を設定し、小グループによるゼミナールを行なう。これは、いろいろな課題に対して自主的に取り組み、1年間を通して研究、実践する科目である。また、この授業への取り組みを通して、短大2年間の学習を統合し、教育(保育)の実践につなげていく。

幼児学ゼミナールⅡでは、各自の課題研究に対して主体的に取り組み、保育・教育に必要な素材を集め、まとめる。また、岡崎げんき館の活動での子どもや保護者との関わりを通して、保育観を養う。さらに、幼児教育学科の2年間の集大成として、幼児学ゼミナール報告会の発表や抄録集の執筆を行う。

学修内容	到達目標
① いろいろな研究課題に対して、各自が主体的に取り組み、研究・実践する。 ② 「幼児学ゼミナール抄録集」や「幼児教育学科研究報告会」にて、報告・発表ができるように素材を集める ③ 岡崎げんき館にて子どもたちと実践的に関わる。	① 各自の研究課題に対し主体的に取り組めるようになる。 ② 研究成果を報告、発表ために素材を集めることができる。 ③ 岡崎げんき館での子どもたちとの関わり実践に積極的に取り組み、その体験をもとに保育実践に連動して考えることができるようになる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	目標を到達するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。
	実行力	いつまでに作品を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	グループ内で時間内に終わることができるよう手順や役割分担を考えて期限内に完成できるよう進めることができる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループ内で文献を検索し知見をまとめ、聞き手に解りやすい発表の仕方(声の大きさ、スピード等)や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって協力できる。 自分が行ったことで周囲にどんな影響を及ぼすか考え、最良の結果がだせるよう取り組むことができる。
	規律性	・自分の都合を優先することなく集団のルールを守ることができる。 ・無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト:各ゼミナールにて提示される

参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連	
他科目との関連:すべての科目と関連する。 資格との関連:保育士、幼稚園教諭二種免許	
学修上の助言	受講生とのルール
学生個人が選択したゼミナールであり積極的な参加態度や意欲的活動が望まれる。	欠席しないことや学生相互の協力関係が大切である。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	80	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・各ゼミナールの担当教員が評価する。 ・「研究課題への取り組み」や「活動に対しての説教的参加態度」、「げんき館での活動」を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 課題に取り組むにあたって、必要な知識を教科書・文献を使って自己学修をすることができたか。 (実行力) 一度始めたことは最後までやり切ることができたか。 (課題発見力) 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができたか。 (想像力) 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができたか。 (発信力) 予習や講義で身につけた知識を整理し、的確な文章で表現できる。 (傾聴力) 教員や学生の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 (規則性) 許可なくスマートフォン使用と私語・居眠りで注意されたら減点とする。
		②	✓	
		③	✓	
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。</p> <p>学習習得した知識や技能が保育者として、保育実践の現場で活かすことができる。</p> <p>総合評価 90 以上はS(秀)、89～80 はA(優)とする</p>	<p>各課題に対して積極的に取り組み、個人やグループにおいて、研究成果や演技表現、活動実践などの具体的なものを達成する。</p> <p>総合評価 79～70 はB(良)、69～60 はC(可)とする</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション ゼミ活動の目的と内容について確認し、活動予定を企画・立案する。	演習	ゼミの活動を理解し、個人の目標を設定する。	(予習)前期にあげた課題を振り返っておく。	120	主体性 実行力 傾聴力
2週 /	個人の研究テーマを決定する。	演習	個人の研究テーマを決定できる。	(予習)自分の研究テーマを考えてくる。	180	主体性 実行力 傾聴力
3週 /	個人の研究テーマにもとづき、読み聞かせの教育的意義を研究する。	グループワーク	学生同士や教員との相互交流により自分の研究を深められる。	研究テーマ(絵本の題材、発達との関連、方法など)について調べる。	180	主体性 実行力 想像力 傾聴力
4週 /	個人の研究テーマにもとづき、読み聞かせの教育的意義を研究する。	グループワーク	学生同士や教員との相互交流により自分の研究を深められる。	研究テーマ(絵本の題材、発達との関連、方法など)について調べる。	180	主体性 実行力 想像力 傾聴力
5週 /	個人の研究テーマにもとづき、読み聞かせの教育的意義を研究する。	グループワーク	学生同士や教員との相互交流により自分の研究を深められる。	研究テーマ(絵本の題材、発達との関連、方法など)について調べる。	180	主体性 実行力 想像力 傾聴力
6週 /	個人研究中間発表	グループ討議 個人研究について発表し、評価し合う。	ゼミ活動に積極的に参加し、自分の意見を伝える。	(予習)発表の準備をする。 (復習)課題を改善できるようにする。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
7週 /	個人研究中間発表	グループ討議 個人研究について発表し、評価し合う。	ゼミ活動に積極的に参加し、自分の意見を伝える。	(予習)発表の準備をする。 (復習)課題を改善できるようにする。	180	課題発見力 発信力 傾聴力
8週 /	岡崎げんき館での活動計画を企画・立案する。	演習 グループワーク	活動計画の企画・立案に積極的に参加する。	岡崎げんき館での活動の準備をする。	180	発信力 傾聴力 規則性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	岡崎げんき館での活動計画をもとにリハーサルをする。	演習 グループワーク	活動計画をもとに自分の役割を理解できる。	岡崎げんき館での活動の準備をする。	180	発信力 傾聴力 規則性
10週 /	岡崎げんき館での活動計画をもとに実践する。	実践演習	他の学生と協力することができる。	岡崎げんき館での活動の準備をする。	180	実行力 課題発見力 規則性
11週 /	岡崎げんき館での実践を振り返り、課題をまとめる。	演習 グループワーク	自分の課題をあげることができる。	(予習) 岡崎げんき館での実践を振り返っておく。	240	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
12週 /	幼児学ゼミナール抄録集を作成する。	演習 グループワーク	個人研究の成果を文章にまとめることができる。	個人研究をまとめておく。	180	主体性 実行力 発信力
13週 /	幼児学ゼミナール抄録集を完成させる。	演習 グループワーク	個人研究の成果を文章にまとめることができる。	個人研究をまとめておく。	180	主体性 実行力 発信力
14週 /	幼児学ゼミナール報告会の準備を行う。	演習 グループワーク	自分の役割を理解して他の学生と協力できる。	幼児学ゼミナール報告会の準備をする。	180	実行力 課題発見力
15週 /	幼児学ゼミナール報告会で発表する。	実践演習	読み聞かせの教育的意義とその方法を伝えることができる。	幼児学ゼミナール報告会の準備をする。	180	実行力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力